



SANDEN

Delivering Excellence



取扱説明書

自然冷媒ヒートポンプ給湯機 EBS-U37QTA

貯湯タンクユニット	EB-U37QTA
ヒートポンプユニット	EB-U45HPA
リモコン EBK-USRA	台所：EBK-UDRA ふる：EBK-UFRA



ヒートポンプユニット



貯湯タンクユニット

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、ご家族全
員で安全に正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保管し必要
なときにお役立てください。

・ も く じ ・

ご使用の前に

安全上のご注意	1
電灯契約について	6
各部のなまえ	7
はじめてお使いになるとき	11
早見表	13
使用上のお願いとお知らせ	15
日付・現在時刻を合わせる	16

使い方

わき上げ湯量の選びかた	17
運転モードの設定	19
知っておいてください	21
各種設定を切り替える	23
台所・洗面所でお湯を使う	25
浴室でお湯・シャワーを使う	26
ふる温度／湯量（水位）の設定	27
お湯はりをする	28
ふる自動保温時間の設定	29
お湯はりの予約をする	30
湯かげんの調節をする	31
湯量を多くする	32
ふる配管自動洗浄の設定	33
リモコンで通話する	34
数日間わき上げを休止するとき	35

お手入れ・その他

洗浄スイッチによる手動洗浄	37
断水時に生活用水として使う	38
点検とお手入れ	39
据付工事後の確認	45
故障かな？	46
仕様	50
保障とアフターサービス	裏表紙

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

サンデン株式会社

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


警告 この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

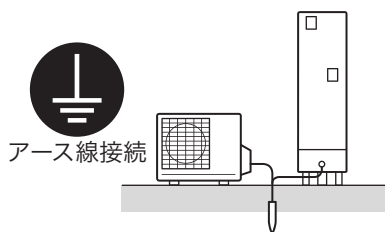
 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

警告

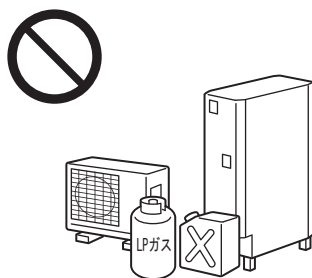
アース工事を確認する



アース工事がされないと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

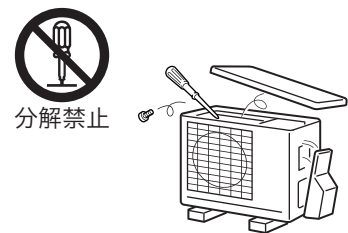
- ・アース工事を販売店にご依頼ください。（アース工事費は、本製品の価格には含まれていません）

近くにガス類容器や火の気、引火物を置かない



本体の電気部品のスパークで、発火することがあります。

絶対に分解・修理・改造しない



感電や火災の原因になります。

- ・修理の場合は販売店にご相談ください。

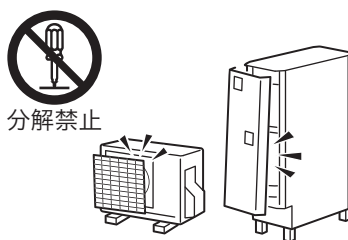
漏電しゃ断器の作動を確認する（→39ページ）



万一の不作動で、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

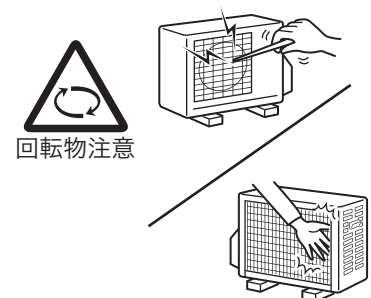
- ・故障の場合は販売店にご相談ください。

貯湯タンクユニットの前板やヒートポンプユニットのカバーを開けない



感電するおそれがあります。

ヒートポンプユニットの空気吸入口（フィン）・空気吹出口に手や棒を入れない



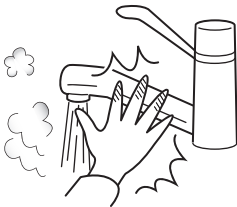
けがの原因になることがあります。

警告

給湯時は給湯栓本体に手をふれない



接触禁止

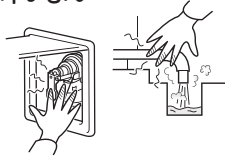


熱湯でやけどをするおそれがあります。

逃し弁の点検時、排水時は逃し弁や排水管・ドレン口・排水エルボに手をふれない



接触禁止



熱湯でやけどをするおそれがあります。

給湯・シャワー使用時は湯温を確かめる



やけどのおそれがあります。

浴そうのふろ循環口を手足やタオルでふさいだり、体を近づけない



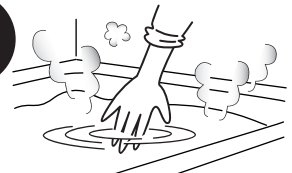
やけどのおそれがあります。貯湯タンクユニットの故障や配管の水漏れの原因となります。

子供を浴室内で遊ばせない、また浴そうのふろ循環口付近にもぐったりしない



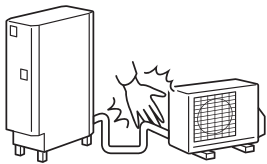
思わぬ事故の原因となります。

浴そうの湯温を確かめる



やけどのおそれがあります。
・自動お湯はり後入浴するときは、手で湯温を確かめてから入浴してください。

ヒートポンプ配管、給湯配管に手を触れない



やけどのおそれがあります。

電源コードを破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままで使用しない

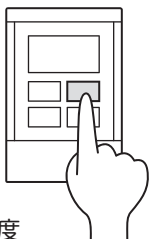


浴そうにお湯がないときは、あつくスイッチをおさない



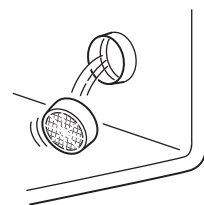
やけどのおそれがあります。
・浴そうにお湯がないときも、あつくスイッチを押すと循環口からあついお湯が出ます。浴そうや循環口のお手入れをするときは特に注意してください。

給湯温度の設定を変更するときは、他のじゃ口の使用を確認してから変更する



やけどのおそれがあります。
・シャワー使用時は、給湯温度を変更しないでください。

浴そうのふろ循環口のフィルターがゆるんだ状態、またははずれた状態で使用しない



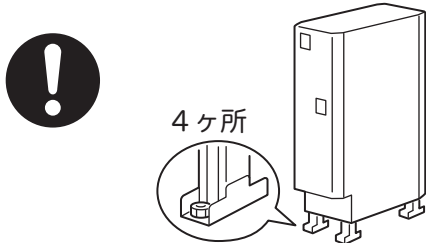
思わぬ事故の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

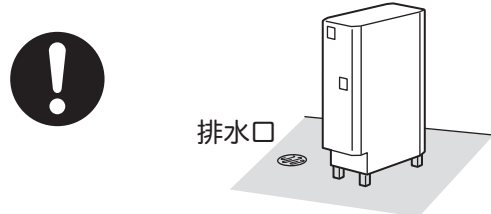
⚠ 注意

脚のアンカーボルトの固定を確認する



地震などによって本体が転倒してけがをするおそれがあります。

防水処理・排水処理をした床面に設置されていることを確認する



万一の漏水のときに階下などに被害をおよぼすおそれがあります。

・販売店にご相談ください。

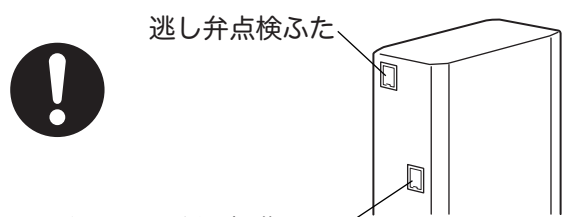
貯湯タンクユニットを満水にしてから通電する (→11~12ページ)



貯湯タンクユニットに水を入れずに通電すると、故障の原因となります。

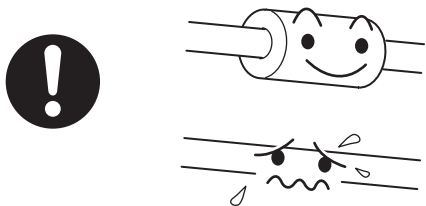
・給湯せんを開き水が出ることを確かめてから、漏電しゃ断器を「入」にしてください。

漏電しゃ断器操作ふた、逃し弁点検ふたは閉じておく



開いていると雨やごみが入り、漏電や感電の原因となります。

配管の保温工事を確認する



配管が凍結して破損すると、やけどや水漏れすることあります。

・保温工事を販売店にご依頼ください。

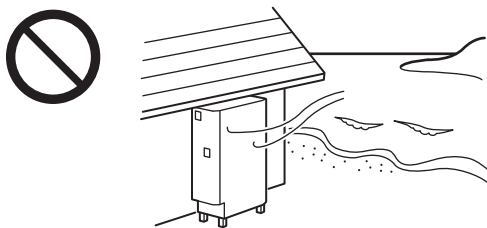
逃し弁の作動を確認する (→40ページ)



故障のまま使用すると、貯湯タンクユニットの破損や逃し弁からの水漏れのおそれがあります。1カ月に1回作動確認してください。

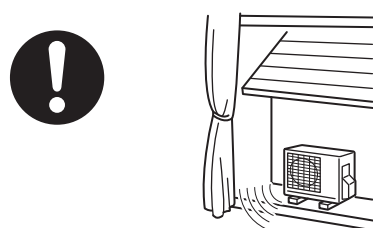
・故障の場合は、販売店にご相談ください。

塩害地には設置をしない



機器の故障の原因になります。

設置は隣家に配慮した場所を選ぶ



運転音や振動が伝わりにくい場所、隣家の迷惑にならない場所をお選びください。

⚠ 注意

そのまま飲用しない



長期間のご使用によって貯湯タンクユニット内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、やかんなどで沸騰させてからにしてください。

- ・必ず水質基準に適合した水を使用してください。
 - ・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検を依頼してください。

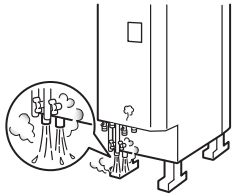
非常用水コック使用時は湯温を確かめて、熱に強い容器を使用する



熱湯が出ます。

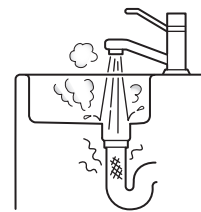
- ・やけどにご注意ください。
- ・ガラス容器などは熱により割れることがあります。

貯湯タンクユニットの熱湯を直接排水しない



やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますので貯湯タンクユニット内を水にしてから排水してください。

あつい湯を直接流さない



あつい湯により、やけどをしたり、排水管を傷めることがあります。

- ・水と混合して流してください。

異常時は、漏電しゃ断器を「切」にする

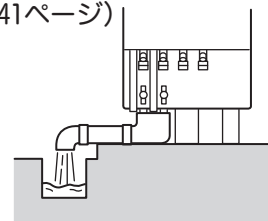


テストボタン

異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。

- ・お買い上げの販売店にご相談ください。

長期間使用しないときは貯湯タンクユニットおよびヒートポンプユニットの水をぬく (→41ページ)



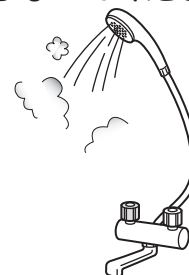
1ヵ月以上使用しないと水質が変化することがあります。

積雪時には除雪をする



ヒートポンプユニットや貯湯タンクユニットの周囲に積雪すると、誤動作や故障の原因になります。

停電復帰直後の1分間は、シャワー・給湯を使用しないでください



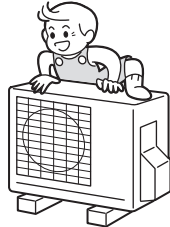
熱いお湯が出る場合があります。

安全上のご注意

必ずお守りください

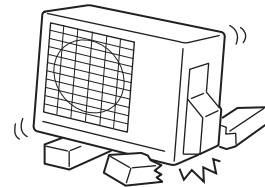
⚠ 注意

機器に乗ったり、ものを乗せたり、配管に力を加えたりしない



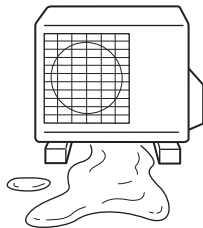
落下・転倒などによりけがの原因になったり、やけどの原因になることがあります。

ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない



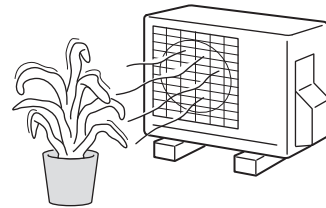
傷んだ状態で放置するとヒートポンプユニットの落下につながり、けがの原因になることがあります。

ヒートポンプユニットの真下に、ぬれて困るものは置かない



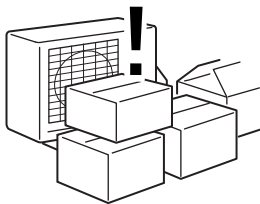
ドレン水が出ます。また配管接続部から露が滴下する場合があります。

動植物に直接風を当てない



動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

空気吸込口や空気吹出口をふさがない



能力低下や故障の原因になることがあります。

凍結予防のため冬期は、漏電しゃ断器の電源レバーを「切」にしない
凍結予防ヒータの通電を「切」にしない



テストボタン



テストボタン

配管が凍結し、水漏れすることがあります。

機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障の原因となり、機器の性能も保証できません。

- 最低気温が -10°C 以下となる場所
- 浴そうと同一屋内（タンクユニットのみ）
- 屋内（ヒートポンプユニットのみ）
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する場所
- リモコン設置位置が、直射日光が当たる場所、または白熱灯から50cm(目安)以内の場所

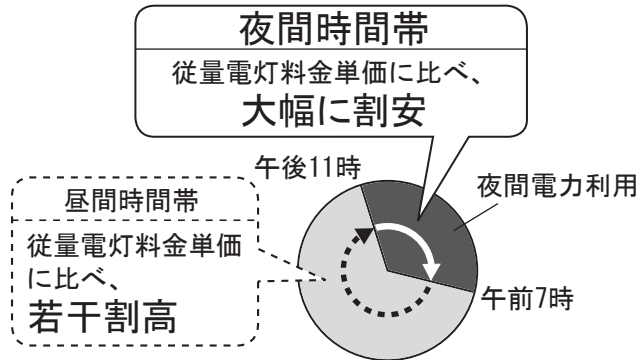
- ヒートポンプユニットは、作動中に運転音がします。運転音や振動が気になる場所へは設置しないでください。
- ヒートポンプユニットの周辺には物を置かないでください。能力低下や思わぬトラブルの原因になります。特に冬期の積雪には、ご注意ください。
- 給水圧が低い場合（ 200kPa 以下）は、お湯の出が悪くなったり、お湯が出なくなる場合があります。
- 循環口のフィルターは、必ず細かいものを使用してください。（ゴミが機器内部につまり、故障の原因になります。）

電灯契約について

次のいずれかで契約されています。ご確認ください。

A 時間帯別料金対応通電制御型

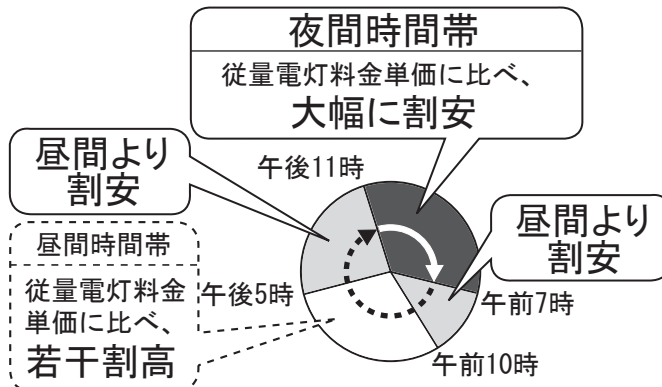
ご家庭で使うすべての電力を、時間帯別電灯専用の積算電力で下図のように2つの時間帯に分けて電力料金を算定します。



※料金の目安や通電時間帯は地域により異なります。

B 季節別時間帯別電灯契約通電制御型

ご家庭で使うすべての電力を下図のように3つの時間帯と2つの季節に分けて電力料金を算定します。



※電力会社によっては、2つの時間帯と2つの季節に分ける場合もあります。

※料金の目安や通電時間帯は地域により異なります。

※ヒートポンプ給湯機は季節区分の判断はできません。

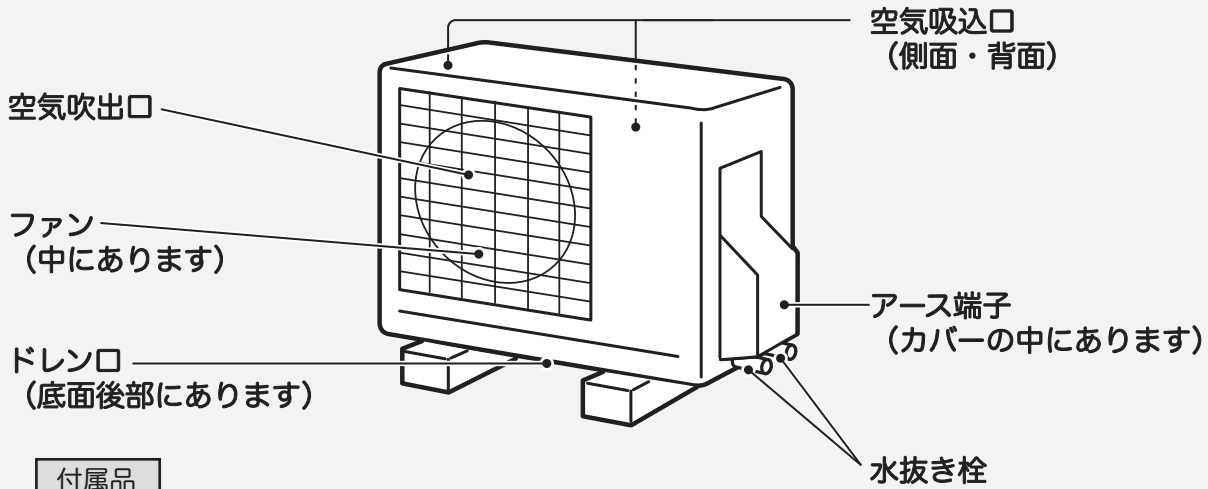
お知らせ

- ・1日に使用できるお湯の量は限りがあります。髪を洗っているときや、洗いものをするときなどに、流しっぱなしで使用せず、こまめに止めて使いましょう。
- ・この給湯機は、おもに夜間時間帯でお湯をわかしますので、夜間時間帯にお湯を使うと、昼間にわき増し運転がずれ込み、電力消費量が増える場合があります。

各部のなまえ

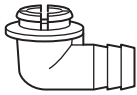
本体とその周辺

ヒートポンプユニット



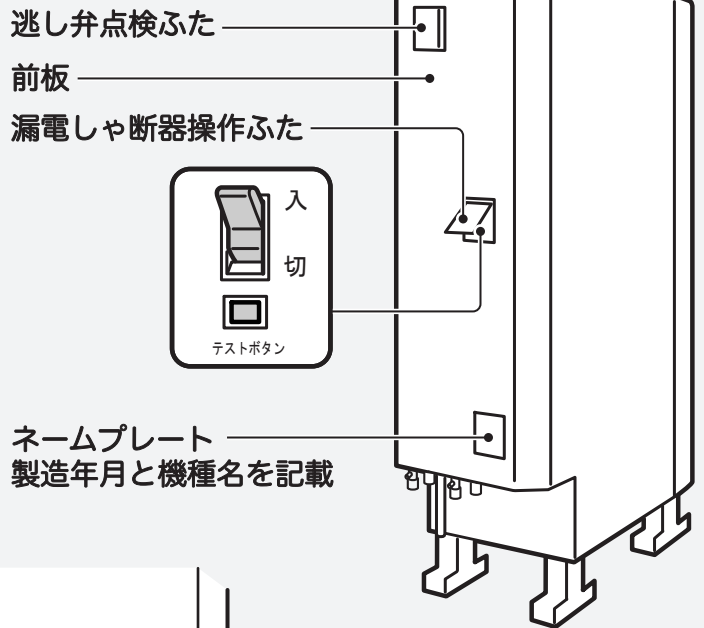
付属品

ドレンエルボ



- ヒートポンプユニットからのドレン水を排水するとき使用します。

貯湯タンクユニット



水抜き栓
(4か所)

ふるり管接続口

ふる行き管接続口

ヒートポンプ
配管戻り口 (湯)

ドレン口
(縁切り装置排水)

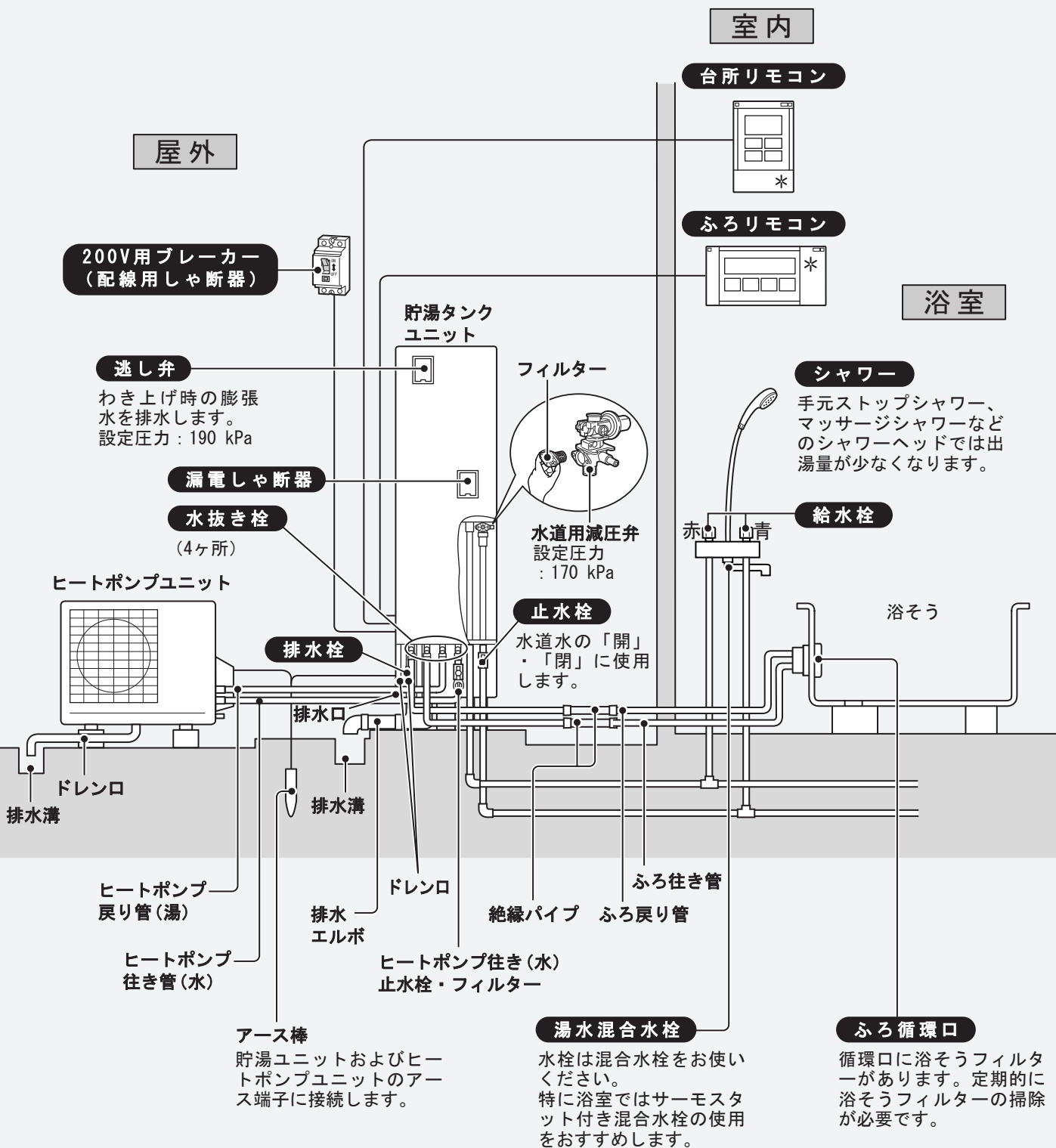
ドレン口
(逃し弁排水)

ヒートポンプ配管行き口 (水)

排水栓 (2か所)

排水口 (2か所)

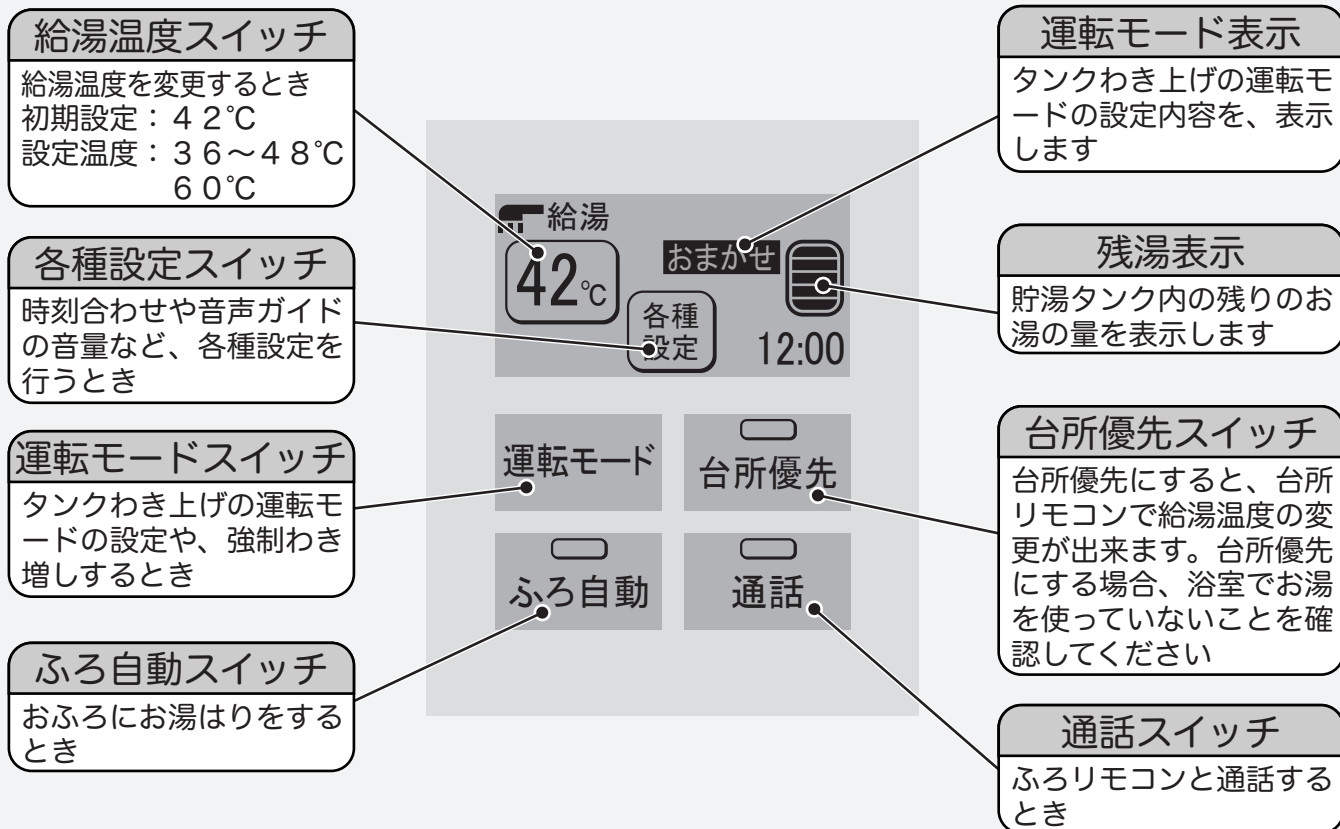
本体周辺



各部のなまえ

台所/ふろリモコン

台所リモコン（初期画面）

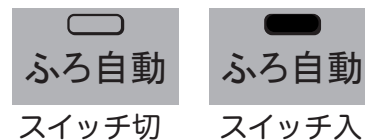


●画面の点灯・消灯

画面のスイッチ部を軽くたたくように押しと、点灯します。
画面消灯については各種設定（23ページ）を参照してください。

●スイッチの表示

本書では、スイッチ上部の○はスイッチ切（OFF）、●は入（ON）を表しています。
実際の表示では、ONのときは黄色、OFFのときは緑色になります。

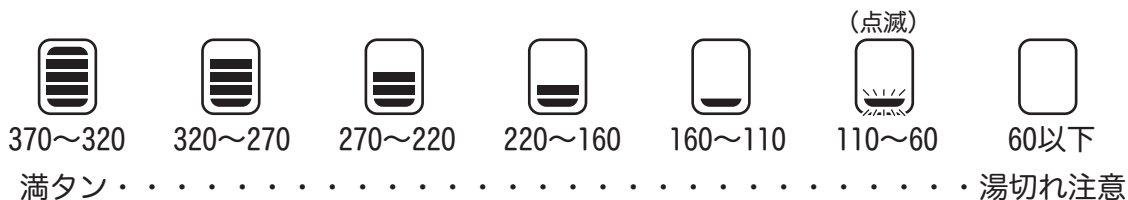


●貯湯量の表示

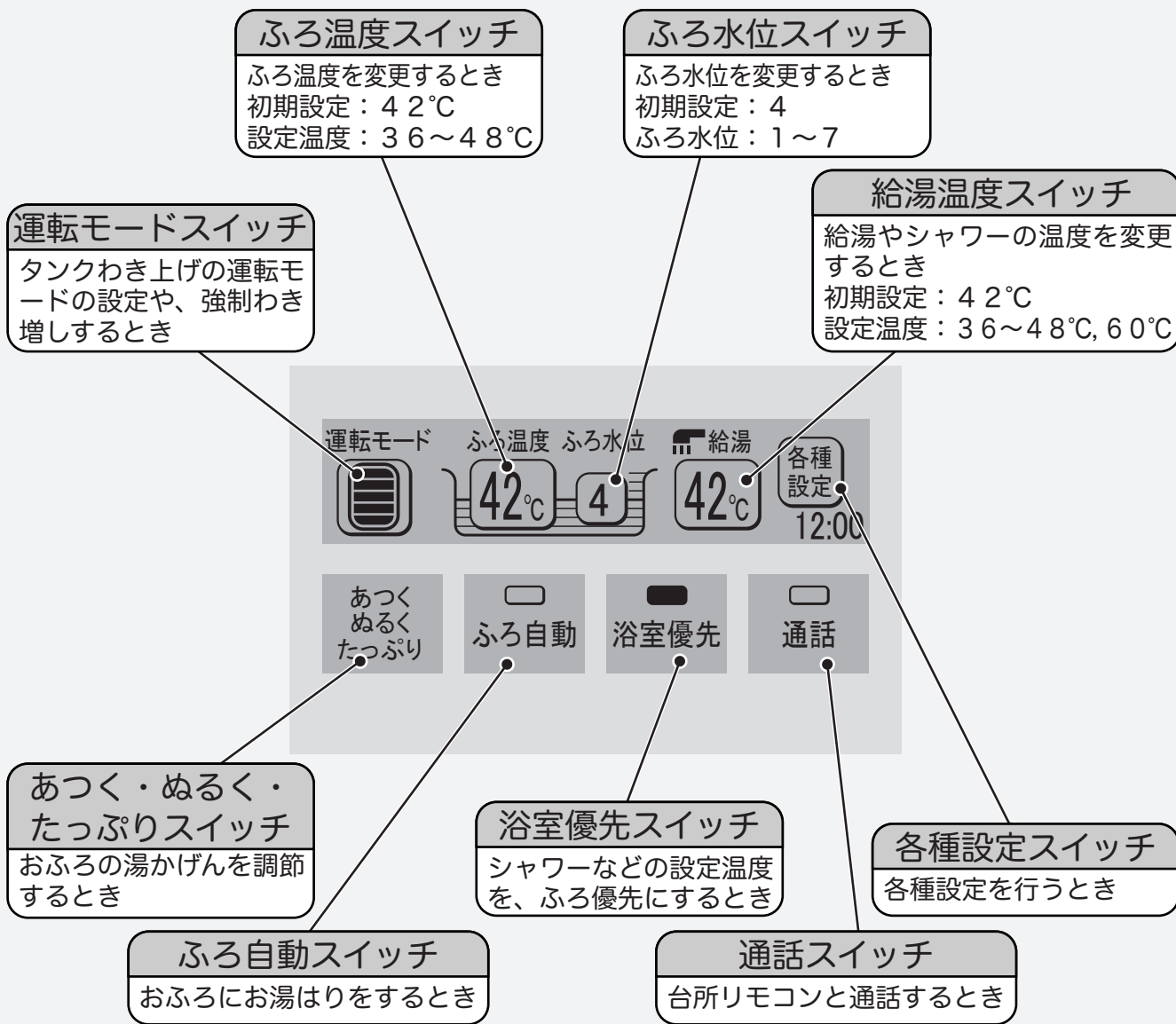
リモコン上部のタンク表示は、タンク内の残湯量を表しています。各表示の残湯量は以下の通りです。

【残湯量の目安】

（単位：リットル）



ふろリモコン（初期画面）



●スイッチ操作時の注意点

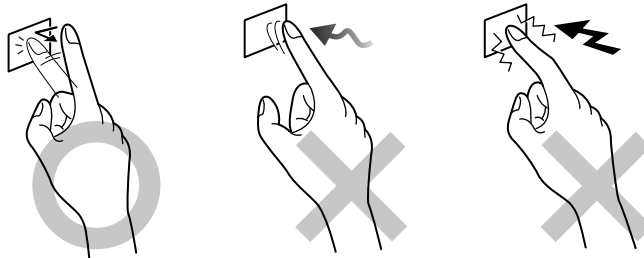
- ・スイッチ操作をする場合は、スイッチの中央部を指で軽くたたくように押ししてください。（スイッチの端や、ゆっくりと触れるように押しと受付けない場合があります。各スイッチには小さな凸(突起)を設けていますので、この付近を操作してください。
- ・”ポン”と音がしたら手を離してください。スイッチを受付けます。ただし、長押しを必要とするスイッチは除きます。
- ・2つ以上のスイッチが同時に押されたときは受付けません。
- ・手袋などをしたままでスイッチを押した場合は、受付けないことがあります。

凸(突起)

ふろ自動

ポン

スイッチの中央部を指で軽くたたくように押ししてください。



はじめてお使いになるとき

1 止水栓を開く

2 排水栓を閉じる

- ・ 右に回すと「閉」になります。

3 逃し弁レバーを上げる

- ・ 約30～40分で貯湯タンクユニットが満水になります。
- ・ ドレン口または排水エルボから水が出始めたら、貯湯ユニットは満水です。
- ・ 満水にしないと、給湯機の故障の原因となります。

4 逃し弁レバーを下げる

5 混合水栓のお湯側を開く

- ・ 混合水栓から水が出ることを確認してください。

6 混合水栓のお湯側を閉じる

7 ヒートポンプの水側止水栓が開になっていることを確認する

8 ヒートポンプの水抜き栓(2か所)を開ける

- ・ 空気の混じっていない水が連続的に出るまで確認してください。
- ・ 3分以上行ってください。

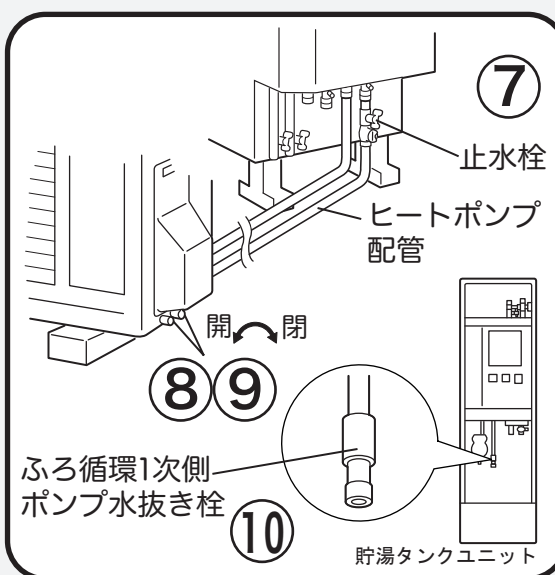
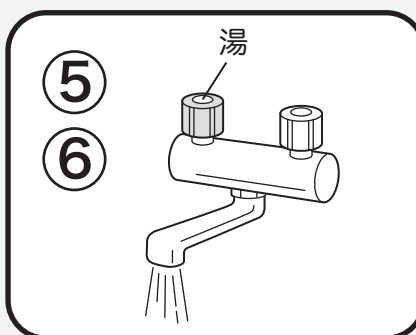
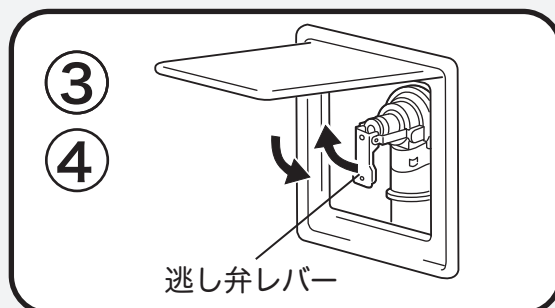
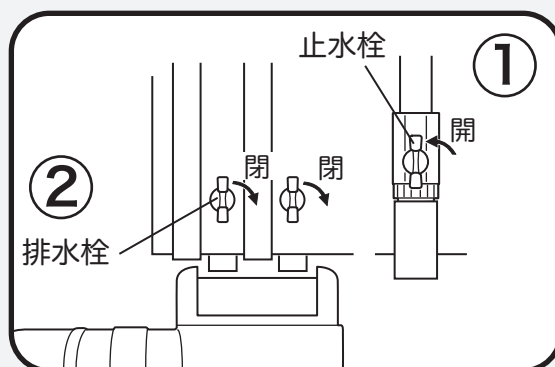
9 ヒートポンプの水抜き栓(2か所)を閉じる

10 ふろ循環1次側ポンプの水抜き栓を開け、水が出る事を確認して閉じる

※ 本体内の水抜きについては、販売店・工事店にご相談ください

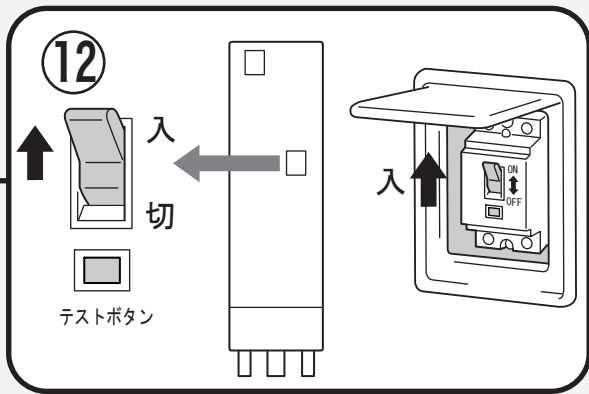
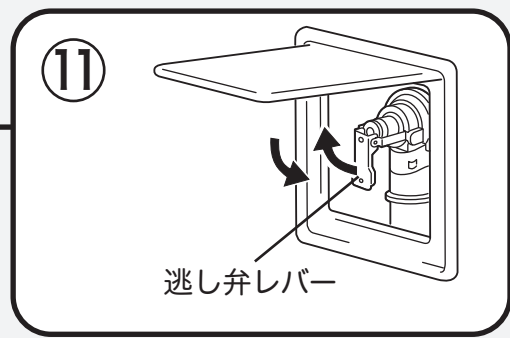
お知らせ

- ・ 貯湯タンクユニットが満水でなかったり、ヒートポンプ配管に空気が混じっていると給湯機の故障の原因となります。



11 本体（タンク）の逃し弁レバーを上げ、タンク内の空気を取りのぞく

- ・ドレン口から空気が出なくなったら、逃し弁レバーを下げてください。
- ・逃し弁点検ふたを閉じてください。



12 配線用しゃ断器および本体漏電しゃ断器を「入」にする

- ・漏電しゃ断器操作ふたを閉じてください。

タンクの水が全量わき上がるのは翌朝です

水栓の種類と操作方法

お湯の出し方は湯水混合水栓のタイプにより異なります。

2バルブタイプ	シングルレバータイプ	サーモスタットタイプ
<p>お湯側（給湯栓）を開く</p>	<p>お湯側にレバーを回す</p>	<p>湯温調節つまみを「高」側にして給湯栓を開く</p>

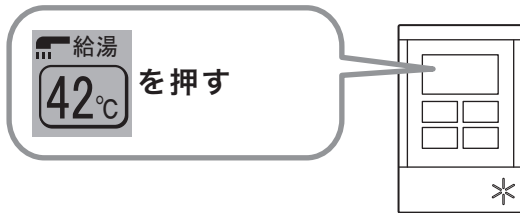
早見表

主な操作方法

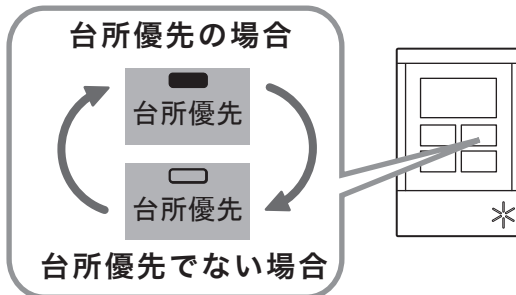
台所・洗面所でお湯を使う

台所リモコン

- 1 給湯温度スイッチを押す

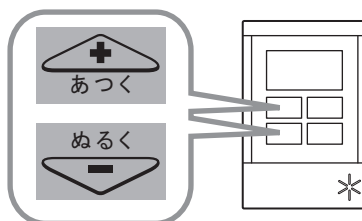


- 2 台所優先にする



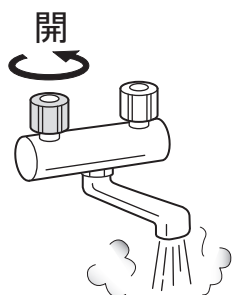
※ 洗面所優先 を押すことで切り替わります。

- 3 給湯温度を設定する



- 4 もどる ↻ を押す

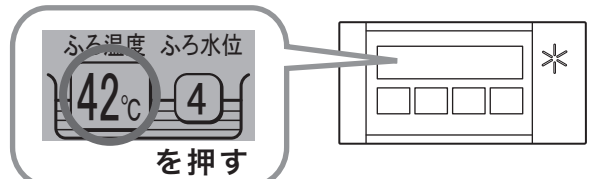
- 5 給湯栓を開く



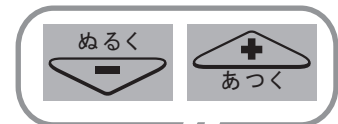
お風呂にお湯をはる

ふろリモコン

- 1 ふろ温度スイッチを押す

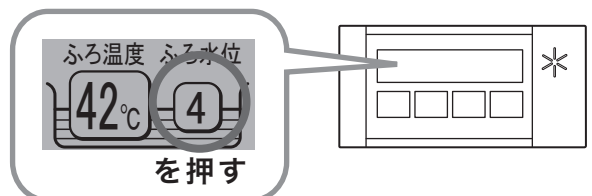


- 2 ふろ温度を設定する

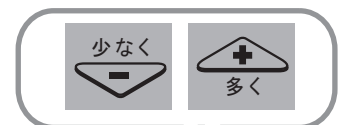


- 3 もどる ↻ を押す

- 4 ふろ水位スイッチを押す

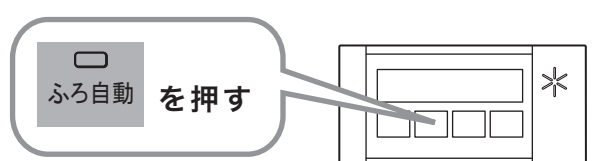


- 5 湯量を設定する



- 6 もどる ↻ を押す

- 7 ふろ自動を押す

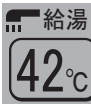


設定した温度・湯量になると自動的に停止します

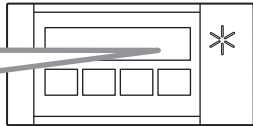
浴室でお湯・シャワーを使う

ふろリモコン

1 給湯温度スイッチを押す

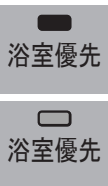


を押す



2 浴室優先にする

浴室優先の場合



浴室優先でない場合



※ 浴室優先 を押すことで切り替わります。

3 ふろ温度を設定する

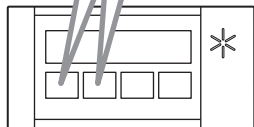
ぬるく

+

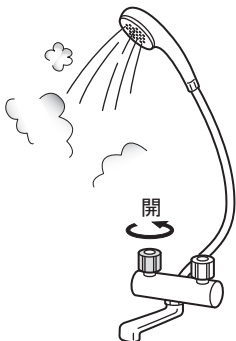
あつく



を押す



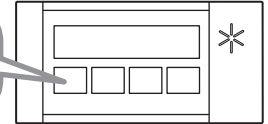
5 給湯栓を開く



入浴中に湯量を多くする

ふろリモコン

1 あつくぬるく たつぷり を押す



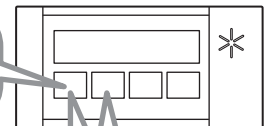
2 たつぷり を押す

※止めた時は再度 たつぷり を押します。

入浴中に湯かげんを調整する

ふろリモコン

1 あつくぬるく たつぷり を押す



2 温度を調整する

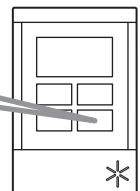
あつく ぬるく

※止めた時は再度押します。

台所・ふろリモコンで通話する

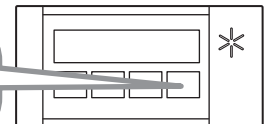
台所リモコン

1 通話 を押す



ふろリモコン

1 通話 を押す



※止めた時は再度押します。

使用上のお願いとお知らせ

リモコンの時刻が正しく表示しているかを確認してください。

- 初めて入居されたときや停電のときなどにリモコン時刻がずれていることがあります。その場合、「現在時刻を合わせる」(→16ページにしたがって現在時刻を設定してください。)
- 時刻が大幅にずれていますと、思わぬ電気代がかかります。
※正しく時刻を合わせても大幅に時刻がずれるときは、販売店にご相談ください。

台所リモコンの「残湯量表示」にご注意ください。

- リモコンの「残湯量表示」が下図のようになっていると使用できるお湯の量がわずかになっています。(→9ページ)



湯切れにご注意ください。

- わき上げ湯量の設定によっては、お湯の使用量が多く湯切れすることがあります。
 - ・シャワーはこまめに止めてください。
 - ・台所での流し洗いはぬるめの温度で使用してください。
 - 前日の浴そうの残り湯をわかし直しすると、タンク内のお湯を多量に使用します。(できるだけ行わないでください。)
 - ・残湯量表示で湯量を確認してください。
- 湯量が少ないと湯切れする場合があります。

選べる電力料金契約

この給湯機は契約の種類により、「時間帯別料金対応通電制御型」「季節別時間帯別電灯契約通電制御型」のいずれかを使用できます。(→6ページ)

この給湯機は申請によって通電制御型として料金割引が適用されます。買い替えの場合でもご使用前に、お買い上げの販売店または電力会社にお問い合わせください。

※契約を変更したい場合には、お買い上げの販売店または電力会社にご相談ください。

タオル、タイル目地などが青くなることがあります。参考：社団法人 日本銅センター発行「銅と衛生」

使用地域の水質により、ごくまれに薄青くなる場合があります。これは、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応しておこるもので、人体には害はありません。井戸水や簡易水道での使用時に比較のおこりやすい現象です。

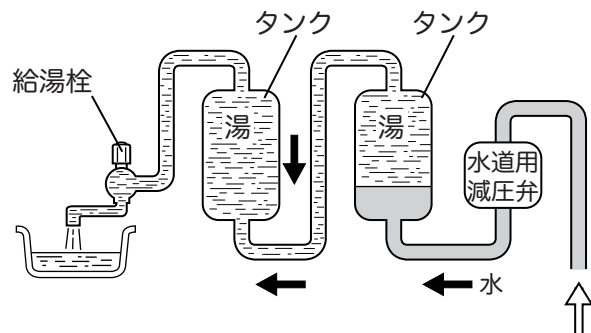
- タオルや布の場合
70~80℃のお湯に食酢を混ぜて10~15%溶液を作り、浸漬すると脱色します。
- 浴そうやタイル目地の場合
アンモニア水(10%溶液)を少量滴下して、スポンジなどでよくこすり、食酢などで中和し、水で洗い流してください。(一般家庭用のクレンザーなどでも落とせますが、あまり強くこすると傷が付きまますのでご注意ください)

お湯を使う前に

やけど防止のため、混合水栓の湯温調節つまみを「低」側にしてから給湯栓を開き、温度を確かめてからお湯をお使いください。

お湯が出るしくみ

- 貯湯タンクユニットは、水道用減圧弁で一定の水圧に調整され、常に満水状態になります。
- 給湯栓を開くと、タンク下部の給水口より自動的に給水され、タンク内のお湯は水道水の圧力で押し出されます。



入浴剤などについて

次のような入浴剤などは使用しないでください。(機器故障の原因となります)

- 生薬(葉、茎、その他固形のもの)
- ミルク成分配合
- 異種の入浴剤を同時に混ぜたもの
- 浴そう内でのせっけんの使用

※硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤は、それらの注意書をよく読んで、機器に影響のないものを使用してください。

日付・現在時刻を合わせる (台所リモコン)

工場出荷時に台所リモコンの日付と現在時刻を合わせてありますが、現在時刻がずれている場合は、思わぬ電気料金がかかることがありますので、次の手順で「現在時刻」を合わせてください。

台所リモコンの現在時刻を合わせると、ふろリモコンの時刻も同時に変化します。

- ① 各種設定を押して、画面を切り替えます。
- ② 設定項目一覧を押して、画面を切り替えます。
- ③ 設定項目一覧の先頭が「1. 時刻合わせ」なので、そのまま確認スイッチを押して画面を切り替えます。

The first screenshot shows the main menu with '各種設定' (Various Settings) highlighted. The second screenshot shows the '設定項目一覧' (Setting Item List) menu with '1. 時刻合わせ' (1. Time Adjustment) at the top. The third screenshot shows the '確認' (Confirm) screen for the time adjustment.

音声ガイドスイッチ
音声のON-OFFが設定できます

- ④ 時刻合わせ設定画面の+・-スイッチで、時刻・日付を合わせ、決定スイッチを押してください。

The central screenshot shows the '時刻合わせ' (Time Adjustment) screen with the date set to '2006年10月10日' and the time to '12:00'. Callouts point to the '+・-スイッチ' (plus/minus switch), '決定' (confirm) switch, and '取消' (cancel) switch.

日付/時刻切り替えスイッチ
日付を合わせる場合は、マーク(▶)を日付に、時刻を合わせる場合は時刻に移動させます

決定スイッチ
+・-スイッチで変更した日付・時刻をセットし、初期画面に戻ります

取消スイッチ
+・-スイッチで変更した日付・時刻をキャンセルし、初期画面に戻ります

+・-スイッチ
日付の場合は1日ずつ、時刻の場合は1分ずつ変わります。押し続けると、日付けは1ヶ月ずつ、時刻は30分ずつ変わります

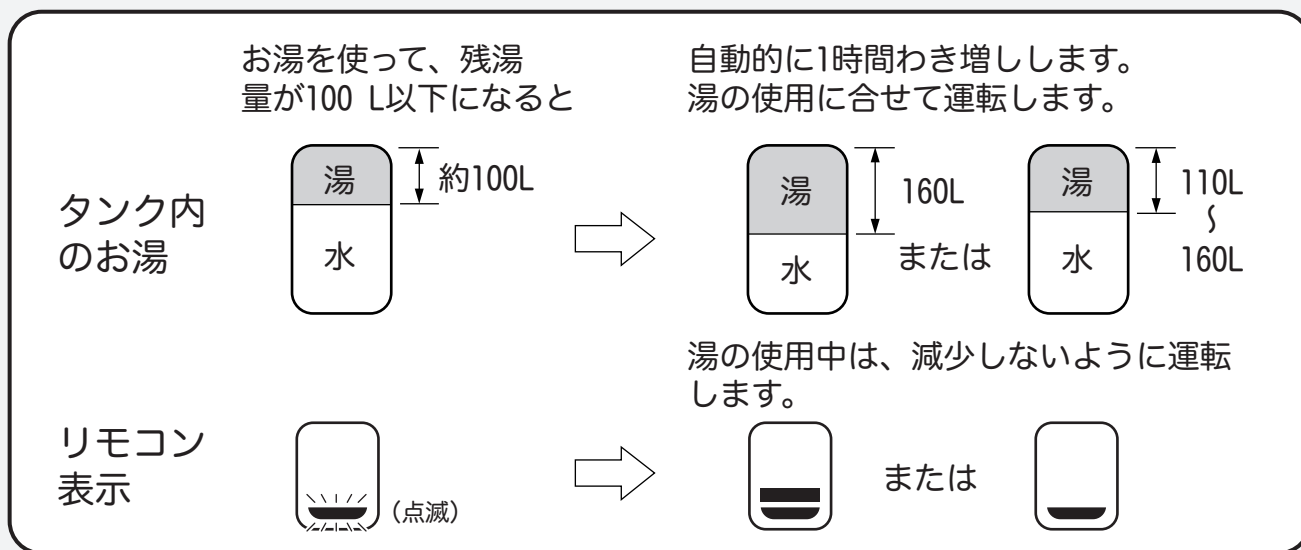
わき上げ湯量の選びかた

〈わき増し機能について〉

タンク内のお湯がなくならないように、お湯をわき上げて追加します。この方法には「おまかせ」「マニュアル」「深夜のみ」の3とおりあります。

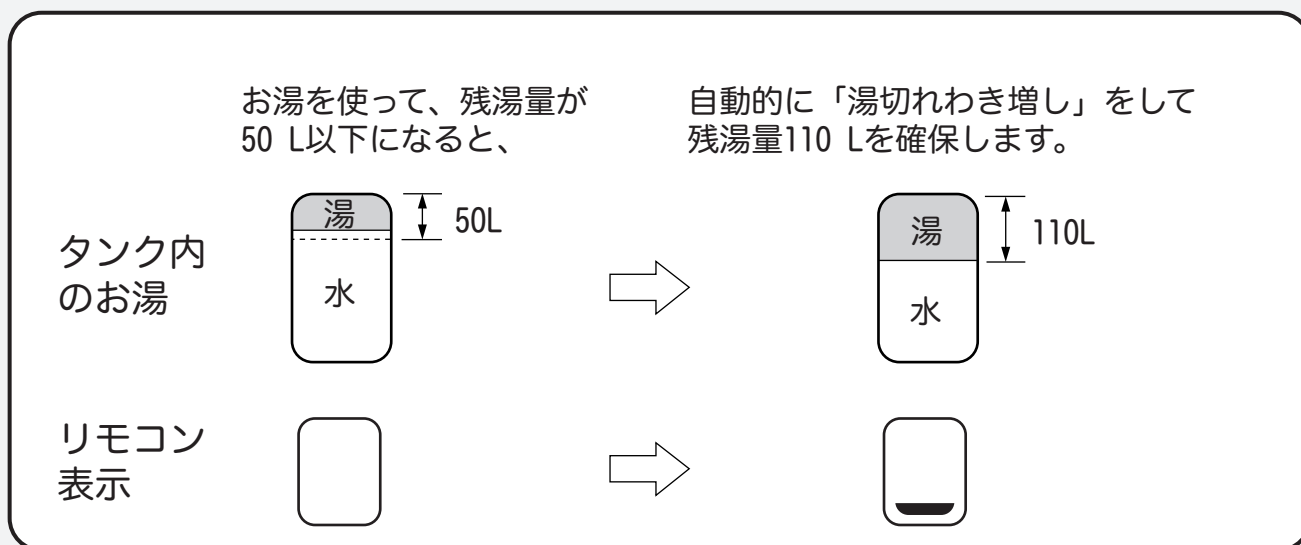
(設定のしかたは→19~20ページ)

- 「使用わき増し」機能とは……「おまかせ」「マニュアル」設定でお湯の使用量が増えてくると湯量を確保するため、お湯を使用したらタンクのお湯がなくならないように、お湯をわき上げて追加します。



※季節別時間帯別電灯契約通電制御型でご契約の場合、「おまかせ」「マニュアル」モードの「使用わき増し」は電力料金の割高な昼間時間帯には行いません。

- 「湯切れわき増し」機能とは…タンクのお湯が少なくなるとお湯がなくならないように、お湯をわき上げて追加します。湯切れを防止できます。



※「深夜のみ」モードの場合、お湯が少なくなっても昼間時間帯ではわき増ししません。

「おまかせ」モード

使用湯量を学習し、適切なわき上げを行います。

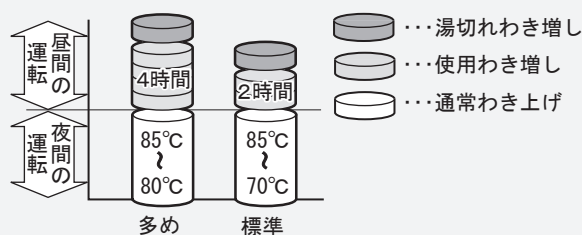
- ・湯余りがあると湯量レベルを下げます。
- ・湯切れわき増しを行うと湯量レベルを上げます。



設定湯量表示	設定時のめやす	わき上げ温度	わき上げ方法と注意点
おまかせ	ご家庭のお湯の使用量に応じてわき上げ、湯切れや湯余りをなくしたいとき。 ・通常はこの設定をおすすめします。	90～65℃	わき上げ湯量が自動的にコントロールされます。 ・学習した湯量でわき上げ温度が設定されます。 ・夜間時間帯にわき上げます。 ・学習した湯量が多い場合は、お湯が使用されると「使用わき増し」を行います。 ・お湯が少なくなると昼間時間帯でも「湯切れわき増し」を行います。(→17ページ)

「マニュアル」モード

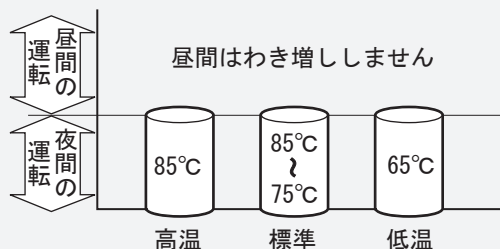
リモコンで、多め・標準の2段階のわき上げ湯量を選べます。



設定湯量表示	設定時のめやす	わき上げ温度	わき上げ方法と注意点
●多め	常に同じ量のお湯をわき上げるとき。 ・湯切れを避けるためには、「多め」の選択をおすすめします。	85～80℃	夜間時間帯にわき上げます。 ・お湯が少なくなると昼間時間帯でも「湯切れわき増し」を行います。(→17ページ) ・外気温度によりわき上げ温度が設定されます。
●標準		85～70℃	

「深夜のみ」モード

リモコンで、高温・標準・低温の3段階のわき上げ温度を選べます。



設定湯量表示	設定時のめやす	わき上げ温度	わき上げ方法と注意点
●高温	常に同じ量のお湯をわき上げるとき。 ・夜間のみ運転します。 ・湯切れを避けるためには「高温」を選択します。	85℃	夜間時間帯にわき上げます。 ・お湯が少なくなっても昼間時間帯ではわき増ししません。 ・外気温度によりわき上げ温度が設定されます。
●標準		85～75℃	
●低温		65℃	

※「深夜のみ」モードのときに、残湯量が少なくなった場合には、「強制わき増しスイッチ」により湯量を増やすことができます。(→19, 20ページ)

運転モードの設定

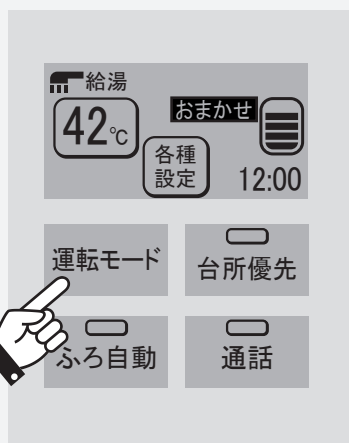
「おまかせ」モード、「マニュアル」モード(2段階)、「深夜のみ」モード(3段階)があります。

台所リモコン

強制わき増しスイッチ

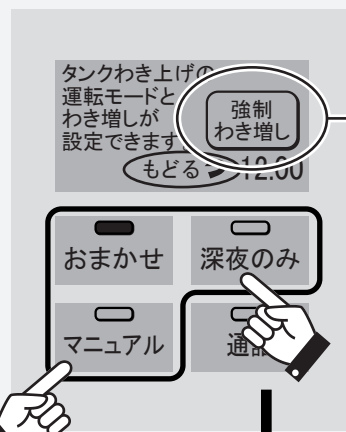
残湯量が少なくなったときわき増しが行なえません。各種設定で1回当たりのわき増し量が設定できます。(→23ページ)

- ① 運転モードスイッチを押して、画面を切り替えます。



音声でお知らせ

- ② 運転モード設定画面に切り替わります。



音声でお知らせ

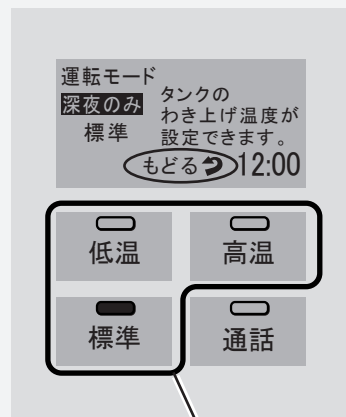
- ③-1 運転モード設定画面で「マニュアル」を押した場合、多め・標準の選択画面に変わります。



音声でお知らせ

設定したい貯湯レベルを設定します
例:標準

- ③-2 運転モード設定画面で「深夜のみ」を押した場合、高温・標準・低温の選択画面に変わります。



音声でお知らせ

設定したい深夜わき上げ温度を設定します
例:標準

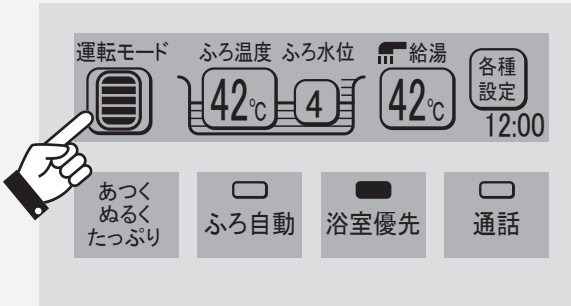
※もどるスイッチを押すと初期画面に戻ります。
※「おまかせ」には、下位の設定画面がありません。

ふろリモコン

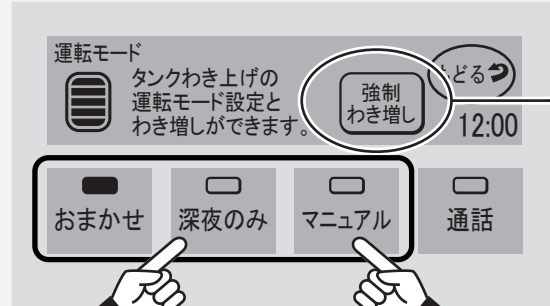
強制わき増しスイッチ

残湯量が少なくなったときわき増しが行なえます。各種設定で1回当たりのわき増し量が設定できます。(→23ページ)

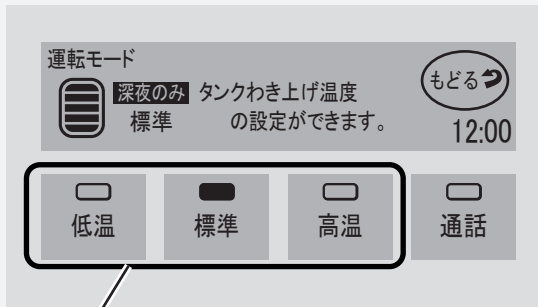
① 運転モードスイッチを押して、画面を切り替えます。



② 運転モード設定画面に切り替わります。

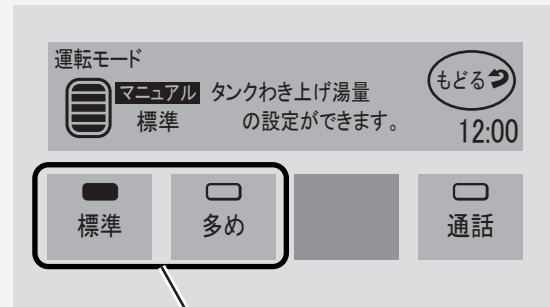


③-1 運転モード設定画面で「深夜のみ」を押した場合、高温・標準・低温の選択画面に変わります。



設定したい深夜わき上げ温度を設定します
例:標準

③-2 運転モード設定画面で「マニュアル」を押した場合、多め・標準の選択画面に変わります。



設定したい貯湯レベルを設定します
例:標準

※もどるスイッチを押すと初期画面に戻ります。
※「おまかせ」には、下位の設定画面がありません。

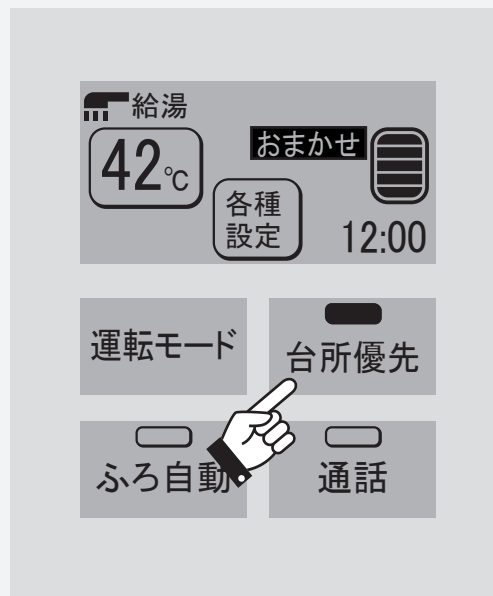
知っておいてください

給湯温度…優先設定について

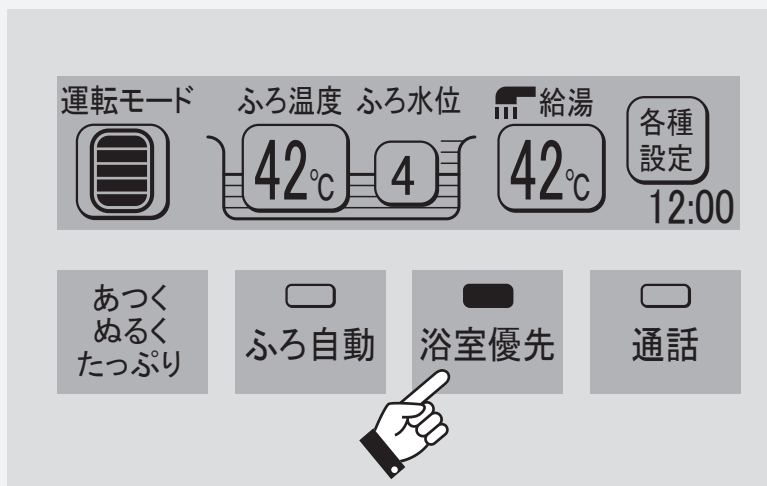
- 優先表示が出ているリモコンで給湯温度の設定ができます。
ふろでお湯を使用するときは、浴室優先にしてください。
台所優先のまま浴室でお湯を使用すると、台所で給湯温度を高く設定したときにやけど等の事故につながるおそれがあります。

浴室優先スイッチが「切」になっているときに、浴室優先スイッチを「入」にすると“浴室優先”になります。もう一度押し「切」にするか、台所優先スイッチを押し「入」にすると、浴室優先が“解除”になります。

台所リモコン



ふろリモコン



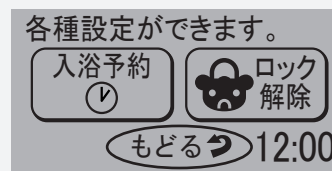
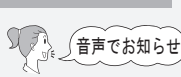
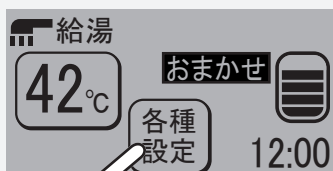
チャイルドロックについて

■お子さまのいたずらや誤操作を防ぐため、**ふろリモコン**のチャイルドロックを設定することができます。（チャイルドロック中のふろリモコンは、通話以外の操作は出来ません。また、バックライトが点灯したままになりますので、必要時以外は、チャイルドロックを解除しておくことをおすすめします。）

台所リモコン

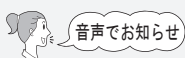
A. ロックのしかた

- ① 台所リモコンの各種設定を押して、画面を切り替えます。
- ② チャイルドロックスイッチを**2秒**押し続けると、チャイルドロックがセットされます。
- ③ チャイルドロック中の台所リモコンの画面です。



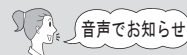
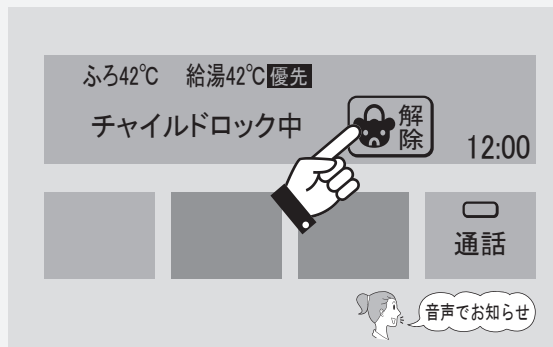
B-1. 台所リモコンでの解除のしかた

- ① 解除スイッチを**2秒**押し続けてください。



B-2. ふろリモコンでの解除のしかた

- ① チャイルドロック中のふろリモコンの画面です。下段左端のスイッチを押すと、右の画面に移行します。
- ② 解除スイッチを**2秒**押し続けると、ロックが解除されます。5秒以上スイッチ操作が無い場合は左の画面に戻ります。

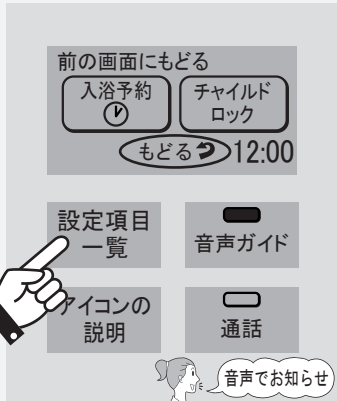


各種設定を切り替える

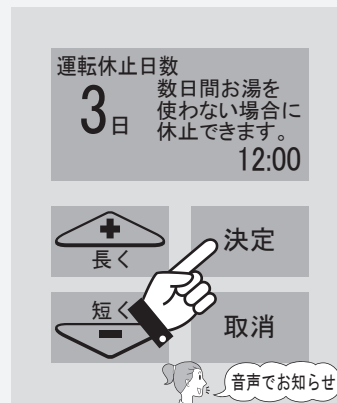
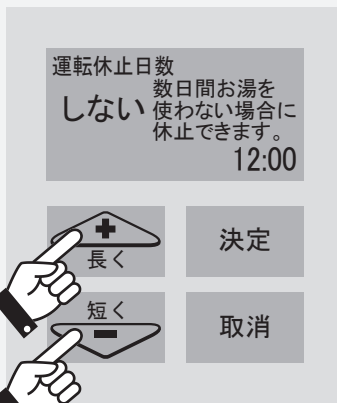
台所リモコン

(例：運転休止日数の設定)


- ① 各種設定スイッチを押して、画面を切り替えます。
- ② 設定項目一覧を押して、画面を切り替えます。
- ③ 項目を選択します。



- ④ 確認を押し、画面を切り替えます。
- ⑤ +、-スイッチで、選択します。
- ⑥ 決定を押すと、設定が保存され、元の画面に戻ります。



■ 設定項目一覧

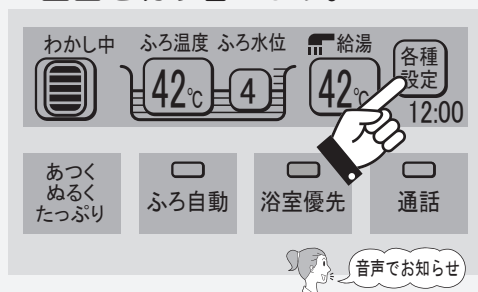
リモコンの各種設定が行えます。項目については下表を参照ください。  は出荷時の設定です

項目	内容	設定範囲
1. 時刻合わせ	日付と時刻の設定ができる。	現在時刻(24時間表示)、年月日
2. 強制わき増し量	強制わき増し時の、1回当たりのわき増し量が設定できる。	①、②、③レベル (1レベルは残湯表示のバー1個分)
3. 運転休止日数	貯湯タンクの水き上げを、休止する日数が設定できる。	しない、2～14日
4. 保温時間の設定	ふろ自動運転の湯はり後の保温時間を変更できる。	0～3～5時間(1時間単位)
5. 60°C給湯15分制限	60°C給湯15分制限機能の有無を設定できる。	あり、なし
6. 音声ガイドの音量	音声ガイドの音量を変更できる。	大きい、標準、小さい
7. 画面の明るさ	表示画面やスイッチの明るさを変更できる。	暗い、明るい
8. 表示の濃さ	画面の文字や図の濃さを変更できる。	1～3～5(5段階)
9. 文字ガイドの速さ	文字ガイドの速さを変更できる。	ゆっくり、標準、はやい
10. スwitchの点滅	画面が切り替わったときのswitchの点滅の有無を設定できる。	あり、なし
11. 入浴OKメロディ	通話を知らせるメロディが変更できる。(ふろリモコンも同じメロディになる)	①、②、③
12. 呼出メロディ	通話を知らせるメロディが変更できる。	①、②、③
13. 通話時間	通話を時間を変更できる。(ふろリモコンも同じ設定になる)	1、3、10、30(分)
14. 画面消灯の設定	お湯を使わなかったり、リモコンを操作しないまま時間が経過すると、表示やバックライトを消します。初期画面で台所リモコンは約1分、ふろリモコンは約30分で消灯。初期画面以外のときは、1分経過で一旦初期画面に戻すため、台所リモコン約2分、ふろリモコン約31分で消灯となる。	自動消灯、常時点灯

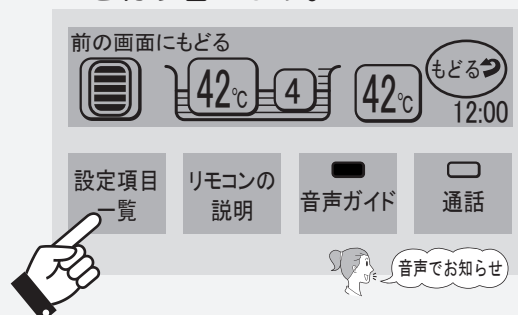
ふろリモコン

(例：4. 水位変更ピッチの選択)

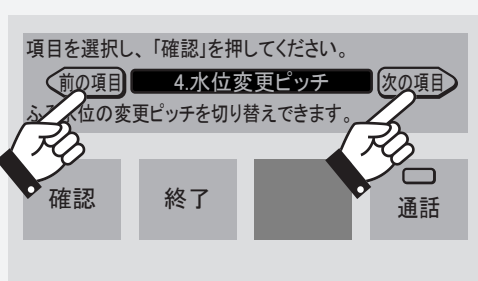
① 各種設定スイッチを押して、画面を切り替えます。



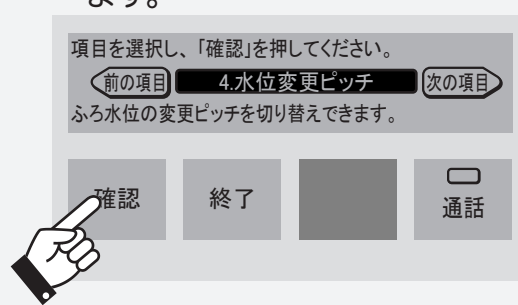
② 設定項目一覧を押して、画面を切り替えます。



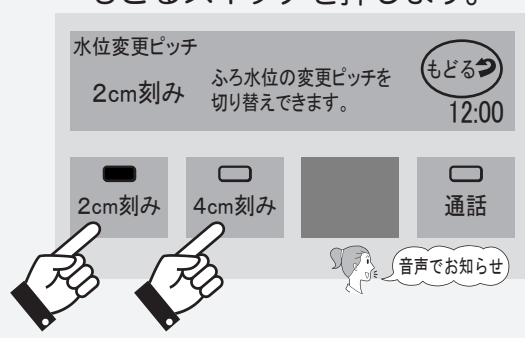
③ 項目を選択します。



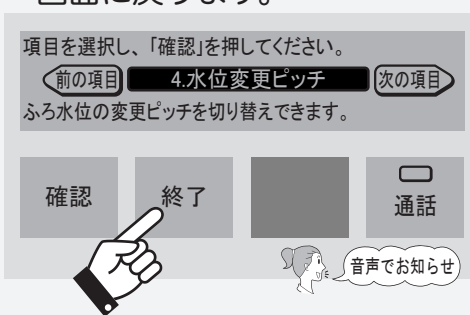
④ 確認を押し、画面を切り替えます。



⑤ ふろ水位の変更ピッチを選択し、もどるスイッチを押します。



⑥ 終了スイッチを押すと、元の画面に戻ります。



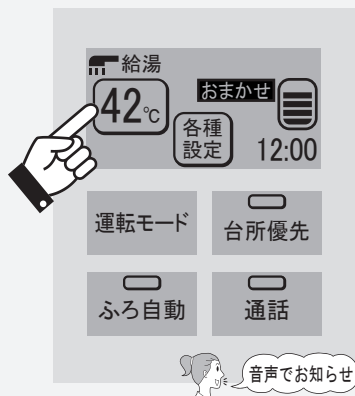
■設定項目一覧

リモコンの各種設定が行えます。項目については下表を参照ください。●は出荷時の設定です

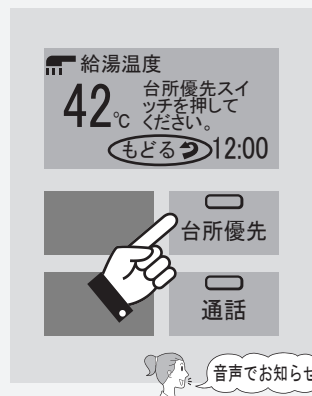
項目	内容	設定範囲
1. 保温時間	ふろ自動運転の湯はり後の保温時間を変更できる。	0～3～5時間(1時間単位)
2. 自動洗浄	おふろの排水時に、水位が低下すると10L給水し自動洗浄する。	あり、なし
3. 配管洗浄	手動で10L給水し、配管洗浄する。	開始SWの3秒押しで給水開始
4. 水位変更ピッチ	ふろ水位設定の一目盛り当たり水位を選択できる。	2cm、4cm
5. 音声ガイドの音量	音声ガイドの音量を変更できる。	大きい、標準、小さい
6. 画面の明るさ	表示画面やスイッチの明るさを変更できる。	暗い、明るい
7. 表示の濃さ	画面の文字や図の濃さを変更できる。	1～3～5(5段階)
8. 文字ガイドの速さ	文字ガイドの速さを変更できる。	ゆっくり、標準、はやい
9. スwitchの点滅	画面が切り替わったときのswitchの点滅の有無を設定できる。	あり、なし
10. 呼出メロディ	通話を知らせるメロディを変更できる。	①、②、③

台所・洗面所でお湯を使う

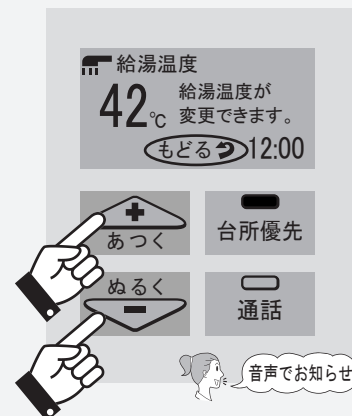
- ① 給湯温度スイッチを押して、画面を切り替えます。



- ② 台所優先スイッチを押して、台所優先をONにします。(すでに台所優先の場合不要)



- ③ +・-スイッチで、設定したい給湯温度に変更します。36~48°C, 60°C



- ④ もどるスイッチで初期画面に、戻ります。  音声でお知らせ

■優先スイッチについて

優先スイッチをONにすると、給湯温度の変更が行えます。浴室優先にすると、ふろリモコンで設定した温度、台所優先にした場合は台所リモコンで設定した温度に切り替わります。

■給湯中の温度変更について

給湯中は、60°Cへの温度変更はできません。

48°Cから、+スイッチを押した場合、キャンセルされます。

■給湯温度60°C、15分制限について

安全のため、給湯温度を60°Cに設定した場合、15分後に42°Cの設定となります。

15分以上継続して使用する場合は制限を解除してください。(→23ページ)

(給湯温度を60°C、15分制限を「なし」に設定した場合、リモコンのバックライトが点灯したままとなりますので、必要時以外は、設定温度を変更しておくことをおすすめします。)

サーモスタットタイプの湯水混合水栓使用の場合

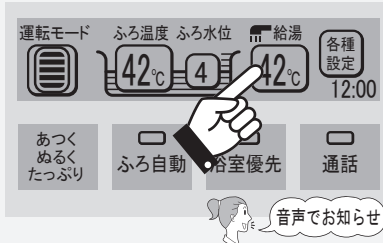
- ・サーモスタットタイプの湯水混合水栓をご使用の場合は、リモコンの温度設定を使用されるお湯の温度より約5°C以上高い温度に設定してください。
(例：湯温調節つまみの設定：40°C→リモコンのお湯の温度設定：45°C)
混合水栓の種類によっては設定温度にならない場合があります。

お知らせ

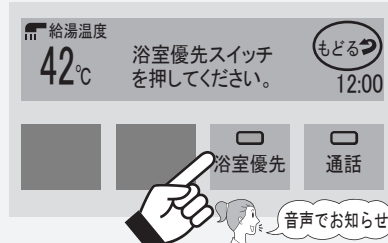
- ・優先表示の出ているリモコンの設定温度でお湯が出ます。
「優先設定について」(→21ページ)
- ・前回使用時と同じ温度で使用するときは、温度の設定をしなおす必要はありません。
- ・表示されている給湯温度表示の数字は「設定値」の表示です。じゃ口、シャワーなどの湯温とは多少異なる場合があります。
- ・水栓のタイプによっては、じゃ口から出るお湯の量が少なくなる場合があります。その時はお湯の温度設定を高めにし、水と混合してご使用ください。
- ・浴そうへのお湯はり中は、じゃ口、シャワーから出るお湯の量が少なくなる場合があります。
- ・水栓のタイプにより操作方法が異なります。(→12ページ)

浴室でお湯・シャワーを使う

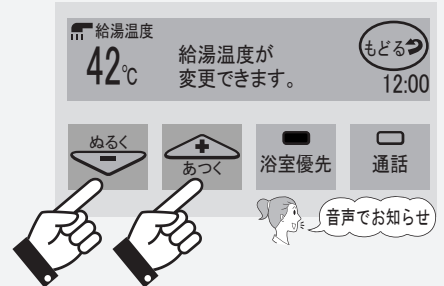
① 給湯温度スイッチを押して、画面を切り替えます。



② 浴室優先スイッチを押して、浴室優先をONにします。(すでに浴室優先の場合不要)



③ +・-スイッチで、設定したい給湯温度に変更します。
36~48°C, 60°C



④ もどるスイッチで初期画面に、戻ります。

■優先スイッチについて

優先スイッチをONにすると、給湯温度の変更が行えます。浴室優先にすると、ふろリモコンで設定した温度、台所優先にした場合は台所リモコンで設定した温度に切り替わります。

■給湯中の温度変更について

給湯中は、60°Cへの温度変更はできません。48°Cから、+スイッチを押した場合、キャンセルされます。

サーモスタットタイプの湯水混合水栓使用の注意

- ・サーモスタットタイプの湯水混合水栓をご使用の場合は、リモコンの温度設定を使用されるお湯の温度より約5°C以上高い温度に設定してください。
(例：湯温調節つまみの設定：40°C→リモコンのお湯の温度設定：45°C)
混合水栓の種類によっては設定温度にならない場合があります。
- ・シャワーの給湯温度を変更する場合は、必ずふろリモコンの「浴室優先」を押し、「浴室優先」にしてから変更してください。「浴室優先」にしないで台所リモコンで温度設定を上げた場合は、やけどのおそれがあります。

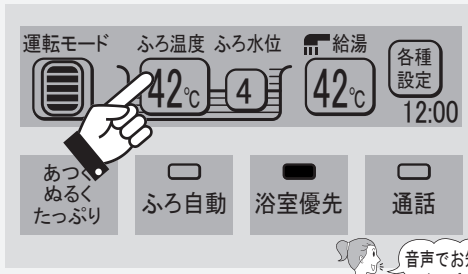
お知らせ

- ・優先表示の出ているリモコンの設定温度でお湯が出ます。
「優先設定について」(→21ページ)
- ・前回使用時と同じ温度で使用するときは、温度の設定をしなおす必要はありません。
- ・表示されている給湯温度表示の数字は「設定値」の表示です。じゃ口、シャワーなどの湯温とは多少異なる場合があります。
- ・水栓のタイプによっては、じゃ口から出るお湯の量が少なくなる場合があります。その時はお湯の温度設定を高めにし、水と混合してご使用ください。
- ・浴そうへのお湯はり中は、じゃ口、シャワーから出るお湯の量が少なくなる場合があります。
- ・水栓のタイプにより操作方法が異なります。(→12ページ)

ふろ温度/湯量(水位)の設定

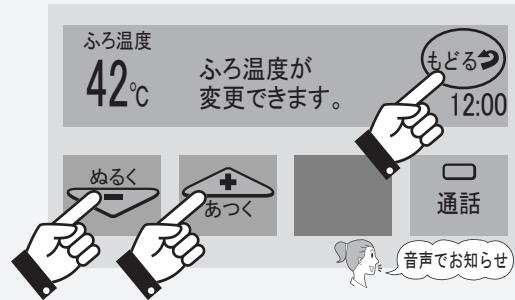
ふろ温度の設定

① ふろ温度スイッチを押して、画面を切り替えます。



音声でお知らせ

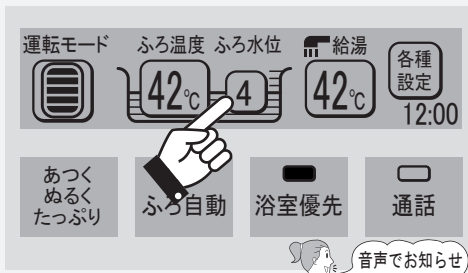
② +・-スイッチで設定したい温度に変更します。もどるスイッチを押すと初期画面に戻ります。



音声でお知らせ

湯量(水位)の設定

① ふろ水位スイッチを押して、画面を切り替えます。



音声でお知らせ

② +・-スイッチで設定水位を変更します。(ふろ水位1~7) もどるスイッチを押すと初期画面に戻ります。



音声でお知らせ

水位4は、ふろ循環口より約15~20cm上の位置になります。
 一目盛り当たりの水位は、P.24各種設定の「4. 水位変更ピッチ」で設定した値(2cmまたは4cm)になります。

水位回復スイッチ

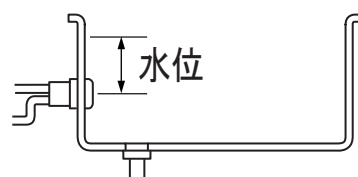
スイッチをOFFにするとふろ自動運転中(保温時間中)、水位を自動調節しません。

下記の場合は、お湯のあふれに注意し、ふろ湯量を設定してください

- ・洋風バスなどの浅い浴そうをご使用のとき。
- ・ふろ循環口の取付け位置が高いとき。
- ・水位設定が高いとき。

お知らせ

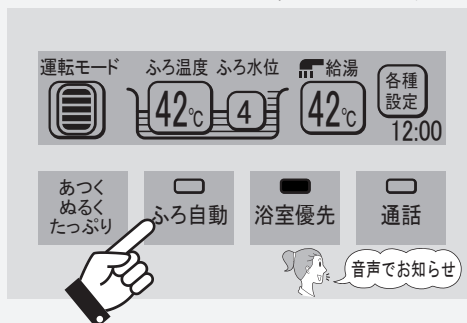
- ・はじめてお使いになるときは、めやすの湯量を4に設定し、
 湯量が少ない場合：設定を大きくする
 湯量が多い場合：設定を小さくする
- ・リモコンの表示は下図のようになります。



- ・ふろ温度表示の数字は「設定値」の表示です。浴そう内の温度とは多少異なる場合があります。
- ・ふろ自動運転中は、水位が下がってもすぐには回復しない場合があります。

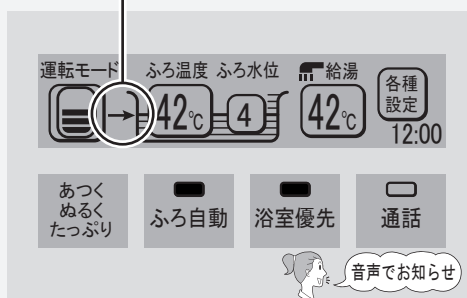
お湯はりをする

① どちらかのリモコンの、ふろ自動スイッチを押してください。



スイッチを押すと湯はりを開始します。

湯はり中表示
矢印がアニメーションで動く



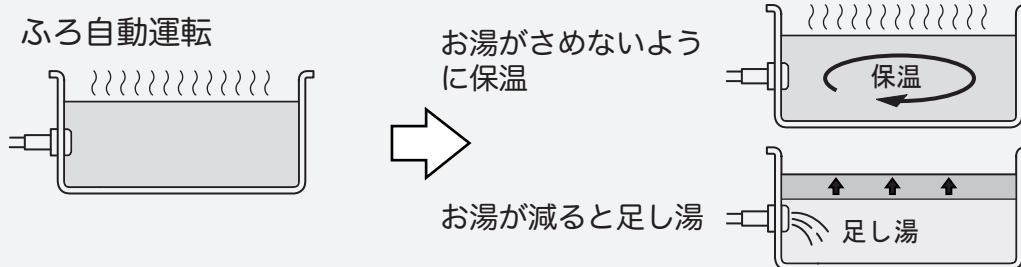
湯はり中表示
白抜き文字と、ふろの絵がアニメーションで動く



② お湯はりを途中でやめたり、保温を中止する場合は、もう一度、ふろ自動スイッチを押してください。

お湯はりが完了すると

お湯はりが完了すると、自動保温・自動足し湯をはじめます。



- ・ふろ自動運転は、お湯はり開始から1~5時間継続されます。
- ➡ ふろ自動運転時間は変更できます。(→29ページ)
- 自動運転時間が終了するとふろ自動ランプが消え、自動保温、自動足し湯を行いません。
- ➡ ふろ自動運転を続けたいときは再度 **ふろ自動** を押してください。
- ・ふろ自動運転を途中で止めるとき ➡ 再度 **ふろ自動** を押す

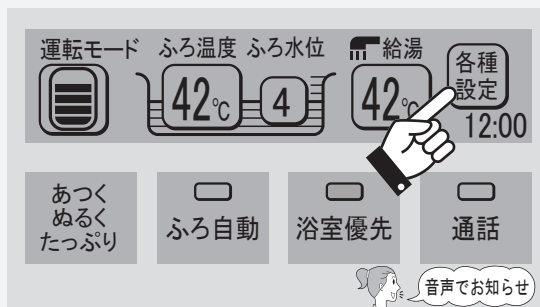
お願い

- ・保温中にふろ循環口から設定温度より高い温度のお湯が出る場合がありますので、ふろ循環口から離れてください。
- ・浴そうの水を排水するときは、必ずふろ自動運転を停止させてください。

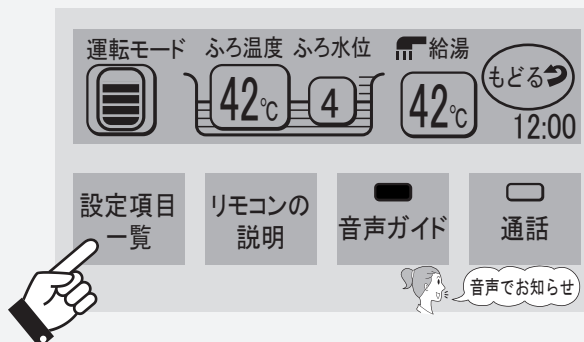
ふろ自動保温時間の設定

ふろ自動保温時間とは、設定した時間（0～5時間）だけ自動的にふろの温度と水位を保持します。お湯はりが完了してからの時間です。

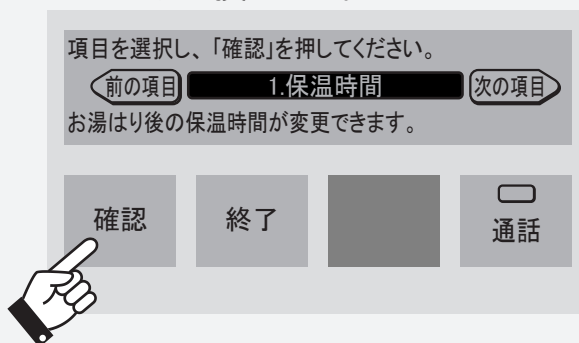
- ① 各種設定スイッチを押して、画面を切り替えます。



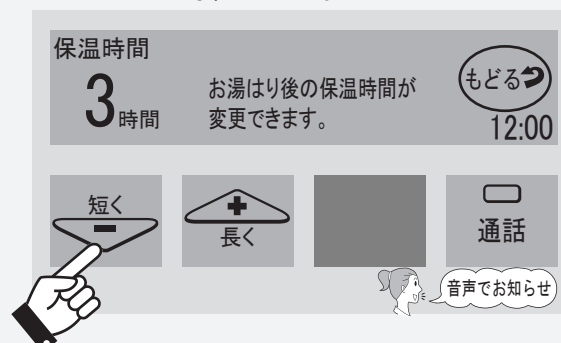
- ② 設定項目一覧を押して、画面を切り替えます。



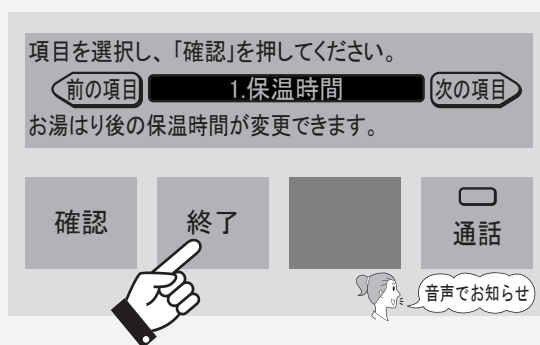
- ③ 項目を選択し、確認を押して、画面を切り換えます。



- ④ 保温時間（0～5時間）を選択し、もどるを押します。



- ⑤ 終了を押すと、元の画面に戻ります。



お知らせ

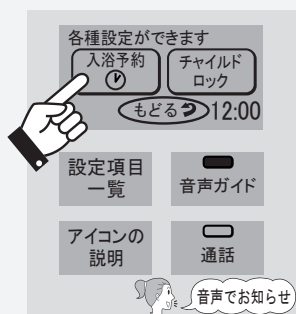
- ・ ふろ自動保温時間を0時間に設定すると、ふろのお湯はりが完了した時点でふろ自動運転を停止し、自動保温、自動足し湯は行いません。
- ・ ふろ自動保温時間の設定は、台所リモコンでも行えます。

お湯はりの予約をする

お湯はり完了時刻の予約ができます。予約する前にリモコンの現在時刻が合っているか確認してください。ふろリモコンでは、入浴予約の設定はできません。

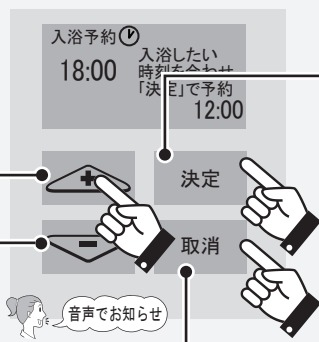
入浴予約を設定する場合

- ① 浴そうの栓・ふたをする。
- ② 各種設定を押して、画面を切り替えます。
- ③ 入浴予約を押して、設定画面に切り替えます。



- ④ +・-スイッチで、入浴したい時刻を設定し、決定スイッチを押してください。

+・-スイッチ
1回押すごとに1分ずつ押し続けると30分ずつ変わります



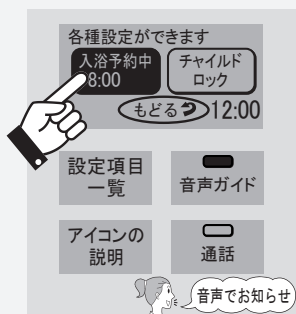
決定スイッチ
入浴予約がセットされ、初期画面に戻ります
セットされた時刻にお湯はりを完了します

取消スイッチ
入浴予約をやめて、初期画面に戻ります

入浴予約を解除する場合

予約時刻より早く、お湯はりしたいときは、ふろ自動スイッチを押すと入浴予約が解除になり、お湯はりを開始します。解除したい場合は、次の操作を行ってください。

- ① 各種設定を押して、画面を切り替えます。
- ② 入浴予約中を押すと、解除されます。



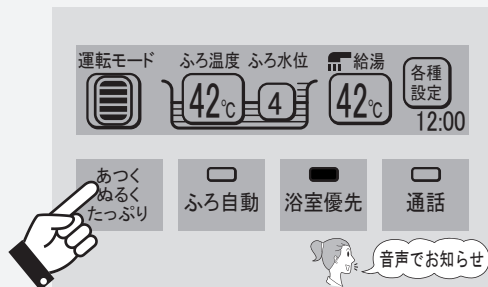
- ③ もどるスイッチを押すと初期画面に戻ります。

お知らせ

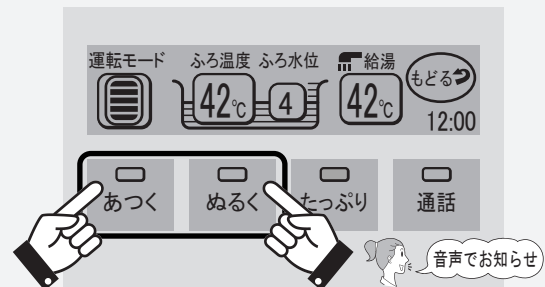
- ・ 24時間以上先の予約はできません。
- ・ 予約時は予約時刻より早く湯はり完了するようになっていますが、水圧等の条件によりお湯はりを完了する時刻は設定時刻に対して、多少前後します。
- ・ 予約時に、ふろ自動スイッチを押すと、運転開始しますが、再度押すことにより、ふろ自動運転の解除ができます。
- ・ 入浴予約を設定したときに、ふろ自動スイッチに、“湯切れ停止”が表示されたときは、ふろ自動スイッチを押すと、“湯切れ停止”の表示が消えます。

湯かげんの調節をする

① あつく・ぬるく・たっぷりスイッチを押して、画面を切り替えます。



② あつく・ぬるくスイッチで、湯かげんの調節をします。もどるスイッチを押すと初期画面に戻ります。



あつくしたいとき

あつく を押す

あつくランプが点灯し、お風呂のお湯を循環させて、お湯を暖めます。

お風呂の湯温を設定温度より約2°Cあつくします。お風呂の湯温が設定温度より低いときは、設定温度まであつくします。

・途中で止めたいとき再度 **あつく** を押す

ぬるくしたいとき

ぬるく を押す

約10L水が注ぎ足されます。

浴そうの残り湯の沸かし直し

浴そうに残り湯があるとき **ふる自動** を押す

・設定した湯量（水位）までお湯はりした後、設定したふる温度まであつくします。

お願い

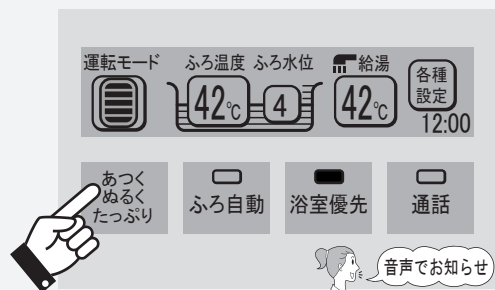
- ・湯ぎれ注意ランプが点滅するときはタンク内のお湯が少ないため、あつくできません。強制わき増しスイッチを押し、湯をわき上げてください。（→19～20ページ）
- ・前日の残り湯をわかし直しすると、タンク内のお湯を多量に使用しますので、この動作はできるだけ行わないでください。
- ・あつく動作を行うと、ふる（循環口）からは設定温度よりも高い温度のお湯が出てきますので、ふる（循環口）から離れてください。

お知らせ

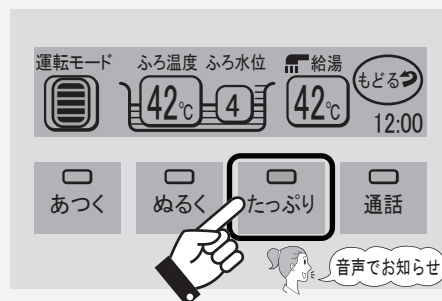
- ・あつく動作はタンク内のお湯を使い浴そうのお湯をあつくします。
- ・あつく動作またはぬるく動作の完了および途中で止めた後もしばらくお湯や水が出ますが、異常ではありません。
- ・あつく動作開始後しばらくの間、配管内に残っているぬるい水が出てくる場合があります。
- ・タンク内の湯温が低い場合、または浴そう内の湯温が低い場合は、あつく動作が終了するまでの時間が長くなることや、途中であつく動作が取り消される場合があります。
- ・浴そう内の水位がふる循環口より上の位置にないときは、あつく動作は行いません。

湯量を多くする

- ① あつく・ぬるく・たっぷりスイッチを押して、画面を切り替えます。



- ② たっぷりスイッチで、足し湯をします。もどるスイッチを押すと初期画面に戻ります。



足し湯をしたいとき

たっぷりを押す
ふろ湯はり温度で約20L足し湯されます。

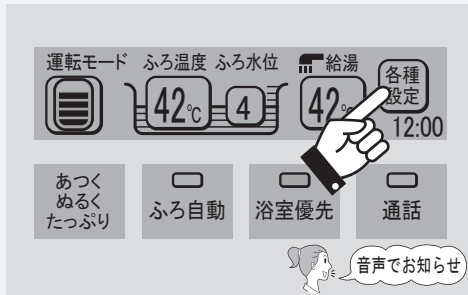
お知らせ

- ・ 足し湯を始めてしばらくの間、配管内に残ったぬるい水が出てくる場合があります。

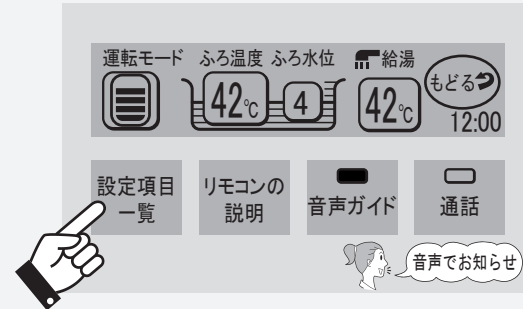
ふる配管自動洗浄の設定

「配管自動洗浄」にすると、浴そうのお湯を排水するとき自動的に約10Lの湯水を配管に流して、配管内の汚れた湯水を流し出します。

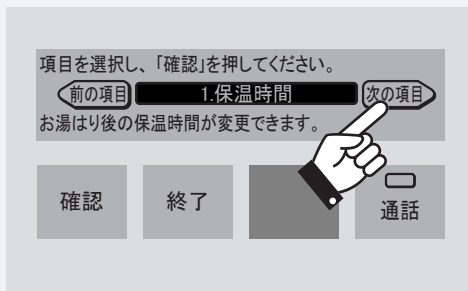
① 各種設定スイッチを押して、画面を切り替えます。



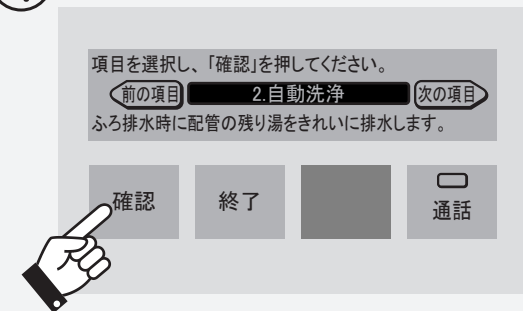
② 設定項目一覧を押して、画面を切り替えます。



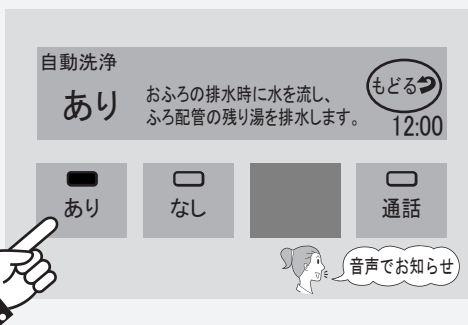
③ 自動洗浄を選択します。



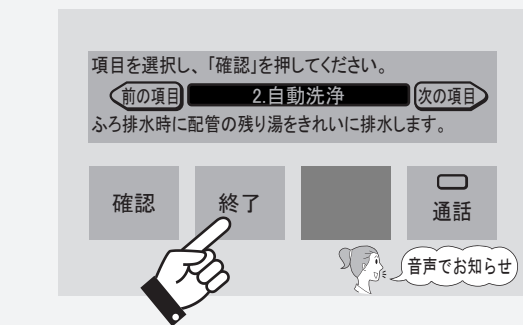
④ 確認を押し、画面を切り換えます。



⑤ あり、または、なしを選択し、もどるを押します。



⑥ 終了を押します。



お知らせ

- ・配管自動洗浄は配管内の汚れた湯水を流し出すものであり、洗浄剤は不要です。
- ・配管自動洗浄「あり」のときは毎回排水時、自動的に配管洗浄を行います。
- ・配管自動洗浄の設定は、一度設定すると記憶されます。毎回設定する必要はありません。

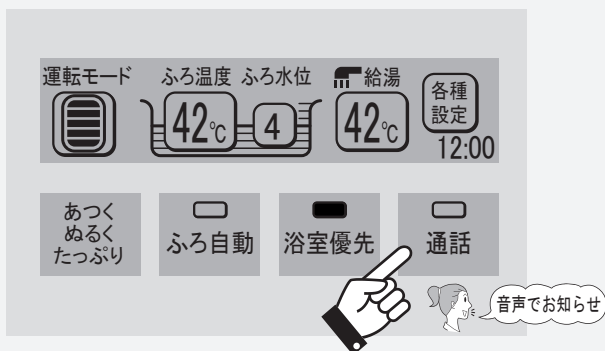
リモコンで通話する

台所リモコンとふろリモコン間で通話ができます。
通話スイッチを押し、メロディーが鳴り終わってから通話してください。
両方から同時に話すことはできません。相手の話が終わってから話してください。

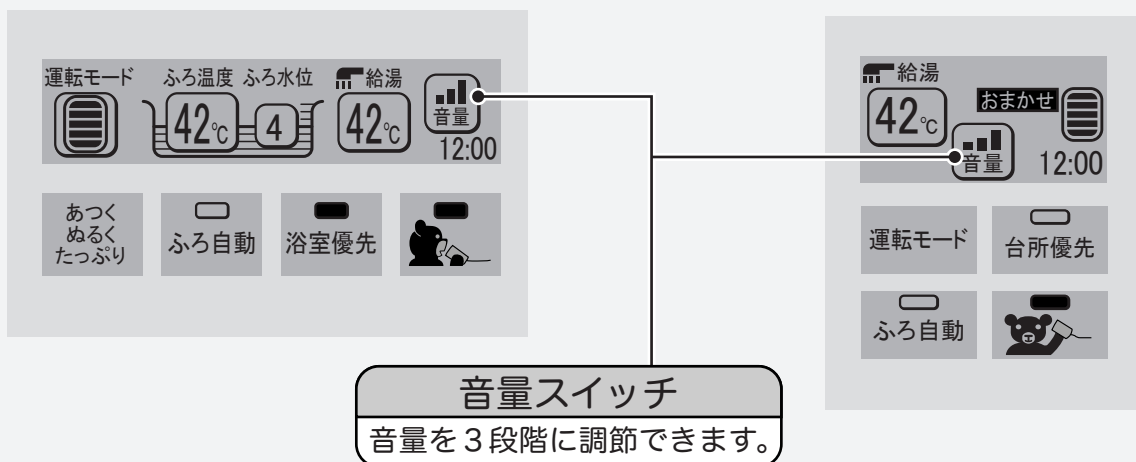
ふろリモコン

台所リモコン

- ① どちらかのリモコンの、通話スイッチを押します。



- ② 通話を開始します。リモコンに向かって話しかけてください。音量調節は、音量スイッチで行います。



通話スイッチをONにすると、表示が変わります。

「マイク」表示



相手に話す
ことができます。

「耳」表示



(相手が送話中のとき)

相手が送話中のときは、
話しかけても相手に伝わりません。

お知らせ

- ・初期画面以外の通話スイッチからも同様に操作できますが、通話スイッチをONにすると一旦初期画面に戻ります。

数日間わき上げを休止するとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数の間、給湯機のわき上げを休止させ、電気代を節約することができます。

出荷時の設定 しない

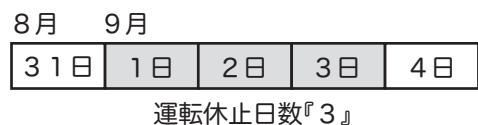
設定できる範囲☒☒☒2日～14日

わき上げ休止日数の決め方

例えば、3泊4日の旅行に出かけるとして、
出発日が9月1日、帰宅日が9月4日であった場合

●出発日の9月1日に設定する場合は、運転休止日数を『3』に設定します。

※1日、2日、3日の昼間の3日間の使用を止めるので設定値は『3』となります。



●出発日前日の8月31日に設定する場合は、運転休止日数を『4』に設定します。

※31日、1日、2日、3日の4日間の使用を止めるので設定値は『4』となります。
(設定した日から休止されるので、出発日にはお湯が使用できません)



●運転休止日数を解除すると、翌朝からお湯が使用できるようになります。設定した予定日より早く帰宅した時など、すぐその日にお湯を使用したい場合は、強制わき増しスイッチを押して使用してください。

※各種設定で、強制わき増し量を『3』に設定すると、わき増しを多く設定できます。(→23ページ)

お知らせ

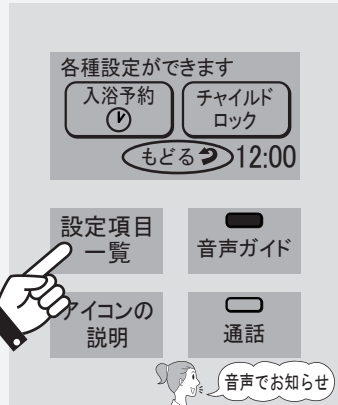
- ・運転休止中でも、配管凍結予防のため、ヒートポンプユニットの運転を行なうことがあります。
- ・休止日数の表示は、1日ごとに減っていきます。
- ・運転休止中は、お湯はりなど、給湯以外の運転はできません。
- ・前日に運転休止日数を設定する場合は、夜間時間帯前に設定してください。
(夜間時間帯開始時刻を過ぎてから、設定を行うときは、出発日からの日数に設定してください)
- ・休止中に配管凍結のおそれがある場合は、浴そうの水を循環口の上から10cm以上はった状態にしておいてください。(→43ページ)

台所リモコン

- ① 各種設定スイッチを押して、画面を切り替えます。



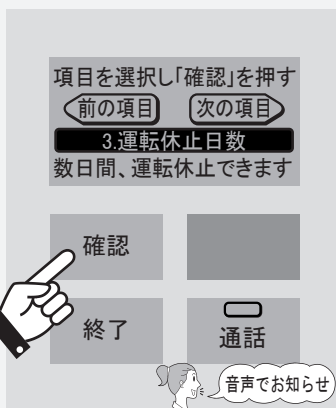
- ② 設定項目一覧を押して、画面を切り替えます。



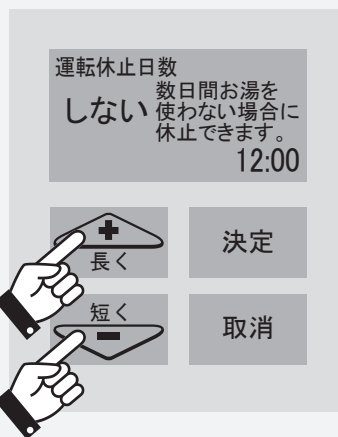
- ③ 項目を選択します。



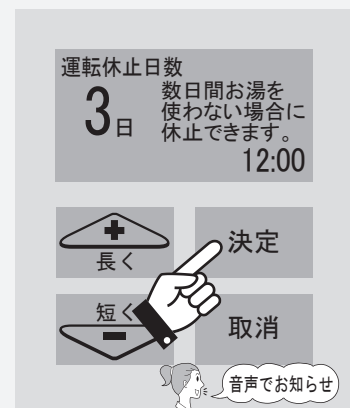
- ④ 確認を押し、画面を切り替えます。



- ⑤ +、-スイッチで、設定を選択します。



- ⑥ 決定を押すと、休止中の画面になります。



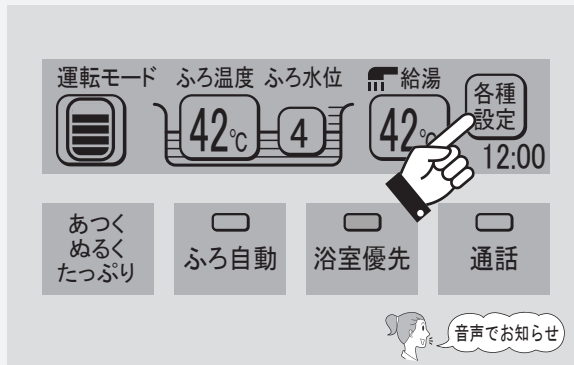
～休止中の表示～



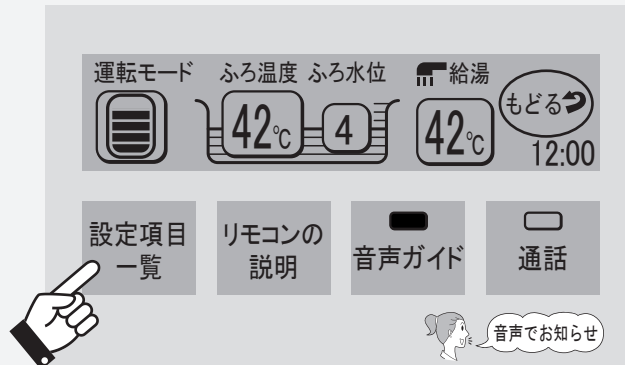
洗浄スイッチによる手動洗浄

「配管洗浄」を行うと、約10Lの湯水を配管に流して、配管内に残った汚れた湯水を流し出します。浴そう掃除の時に使用すると、配管と浴そうの点検・お手入れができます。

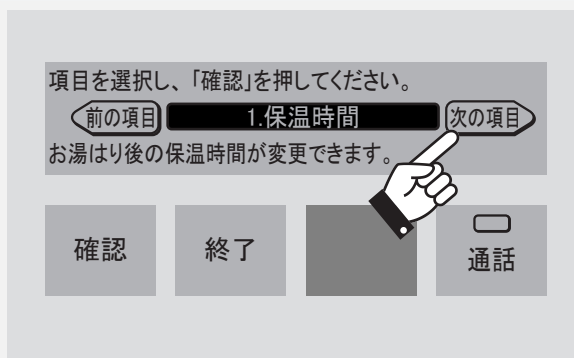
- ① 各種設定スイッチを押して、画面を切り替えます。



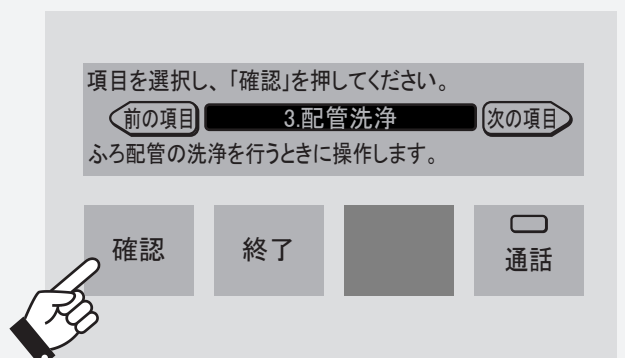
- ② 設定項目一覧を押して、画面を切り替えます。



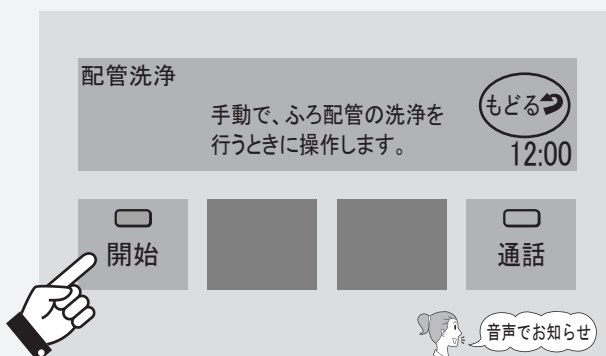
- ③ 配管洗浄を選択します。



- ④ 確認を押し、画面を切り替えます。



- ⑤ 開始を押します。
(3秒押しで配管洗浄開始)



- ⑥ 10L給水して、配管洗浄します。



お知らせ

- 給湯(湯水混合栓、シャワー)を使用しているときは、手動洗浄は操作できません。給湯の使用をしていないときに、再度操作してください。

断水時に生活用水として使う

地震などの災害時や断水時に、タンク内の水を生活用水としてお使いください。
ただし、飲用はおさげください。

生活用水の使いかた

1 貯湯タンクユニットの漏電し
や断器を「切」にする

2 給水止水栓を閉じる

3 逃し弁レバーを上げる

4 配管カバーのねじを外す

5 水抜き栓をゆるめ、バケツなどの容
器を用意して、お湯または水を出す

※ホースから水（お湯）が出てきますが、使い始め
は湯あかなどが出ますので、しばらく洗い流して
ください。

6 使用後は、
水抜き栓を右に回し、お湯ま
たは水をとめる

7 逃し弁レバーを下げる

ヒートポンプ給湯機を再使用するとき

1 給水止水栓を開く

2 排水栓を閉じる

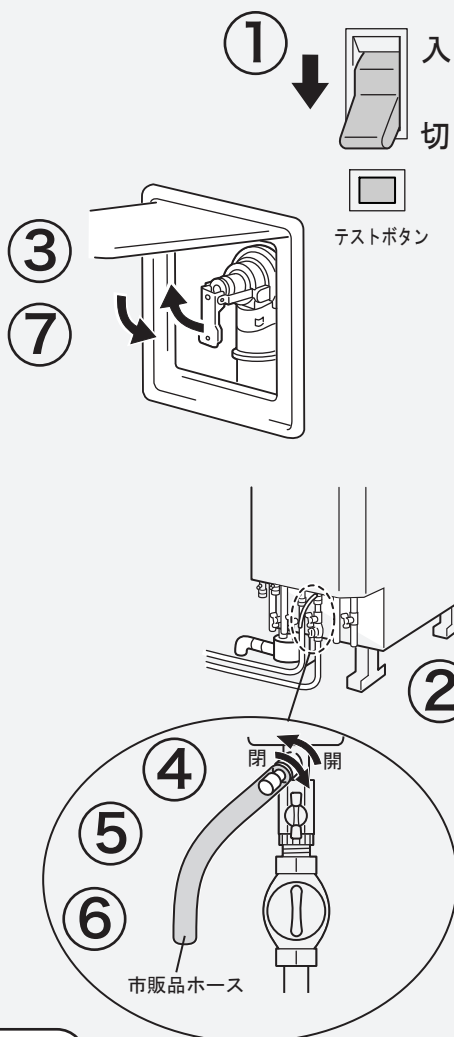
3 逃し弁レバーを上げる

- ・貯湯タンクユニットを満水にします。
- ・ドレン口から水が出始めたら、貯湯タンクユニットは満水です。
- ・満水にしないと、給湯機の運転が停止します。

4 逃し弁レバーを下げる

お知らせ

- ・貯湯タンクユニットを満水にしてから、運転してください。



5 混合水栓のお湯側を開く

- ・混合水栓から水が出ることを確認してく
ださい。

6 混合水栓のお湯側を閉じる

7 貯湯タンクユニットの漏電
しや断器を「入」にする

- ・漏電しや断器のふたを閉じてください。

8 現在時刻を合わせる

(→16ページ)

点検とお手入れ

日常のお手入れ

リモコン

乾いた布または水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとってください。

- ・ベンジン、シンナー、洗剤などは使わないでください。
- ・リモコン内部には電気部品が入っているので、水が入らないようにしてください。
- ・リモコンには水や汚水をかけないでください。

貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット

乾いた布でふくか、中性洗剤をうすめて布に含ませてふいてください。

- ・ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。

1カ月に1回のお手入れ

タンクの掃除 残湯量が少ないときに行ってください。

1 本体の操作部ふたを開け、**漏電しゃ断器を「切」にする**

2 給水止水栓を閉め、逃し弁レバーを上げる

3 排水栓を開けて約2分間排水する

※お湯が出てくる場合があります。やけどにご注意ください。

4 排水栓を閉め、逃し弁レバーを下げる

5 給水止水栓を開ける

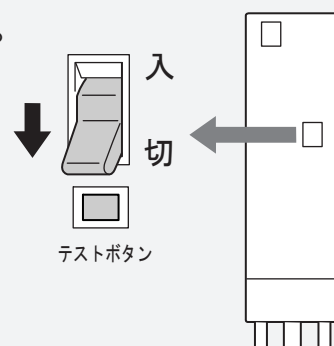
6 給湯栓を開き、水(お湯)が出ることを確認後**漏電しゃ断器を「入」にし、本体の操作部ふたを閉める**

漏電しゃ断器の作動確認

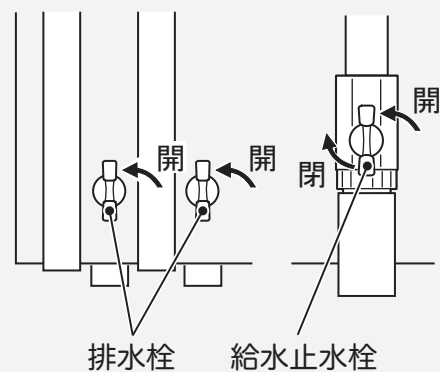
1 本体の操作部ふたを開け、**テストボタンを押す**

2 漏電しゃ断器が「切」になることを確認する

3 漏電しゃ断器を「入」にし、本体の操作部ふたを閉める

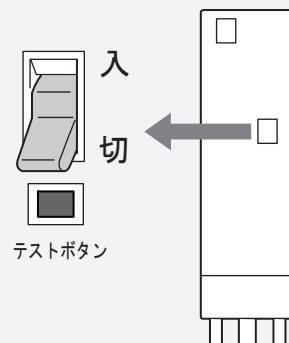


(本体下部)



排水栓

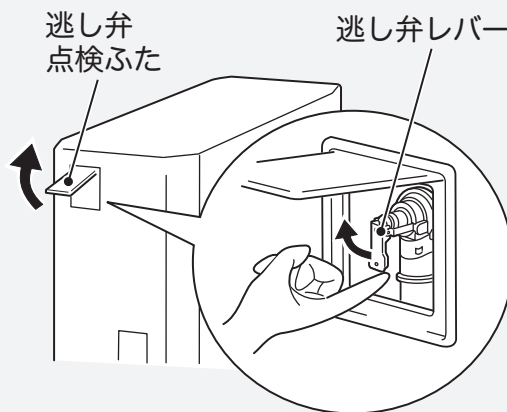
給水止水栓



逃し弁の点検

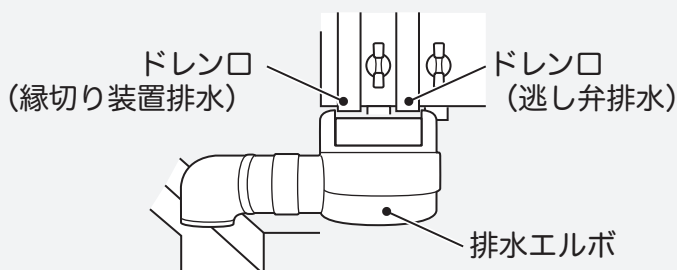
作動点検

- 1 本体上部の逃し弁点検ふたを開け、**逃し弁レバー**を上げる
- 2 ドレン口または排水エルボからお湯(水)が出ることを確認する
- 3 逃し弁レバーを下げ、逃し弁点検ふたを閉める



水漏れ点検

- 1 沸き上げ中でないことを台所リモコンで確認する
- 2 ドレン口または排水エルボからお湯(水)が出ていないかを確認する



ドレン口または排水エルボからお湯(水)が出ている場合は…逃し弁レバーを数回上下に動かし、ドレン口または排水エルボからお湯(水)が止まるかを確認してください。

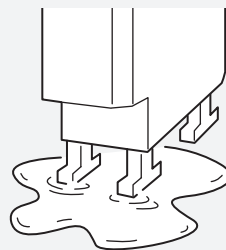
※上記を行ってもドレン口または排水エルボからお湯(水)が出つづけている場合は、販売店にご連絡ください。

沸き上げ中は、水からお湯になるときの膨張水が、ドレン口または排水エルボより排出されますが、故障ではありません。

貯湯タンクユニットの水漏れ点検

- 1 貯湯タンクユニットを設置した床面に水が漏れていないか確認する

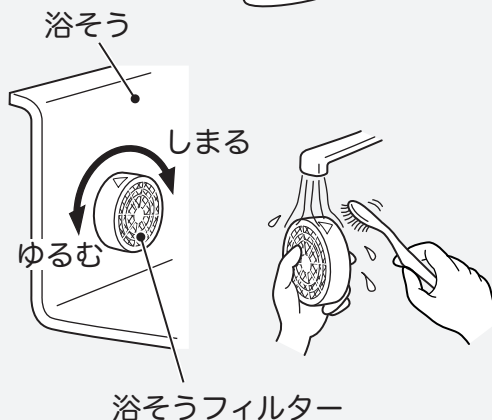
※特に集合住宅では漏水が階下へ被害をあたえます。



浴そうフィルターの掃除

- 1 浴そうフィルターをはずす
- 2 歯ブラシなどで水洗いする
- 3 浴そうフィルターを元の位置に取り付ける

※浴そうフィルターがゆるんだ状態または、はずれた状態で使用しないでください。



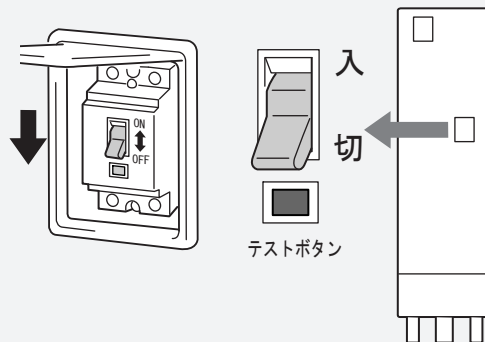
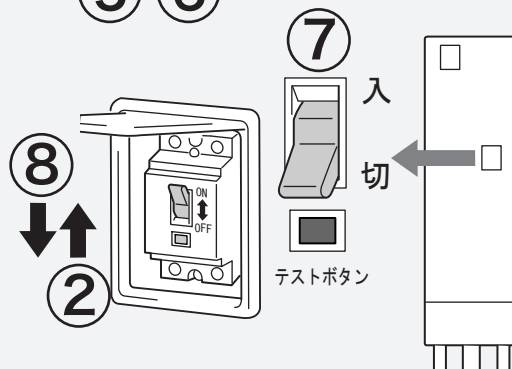
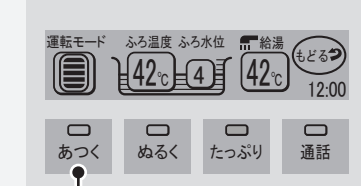
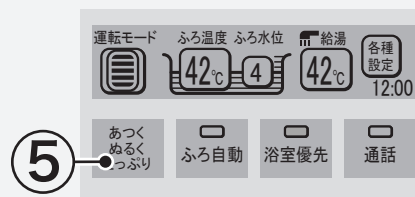
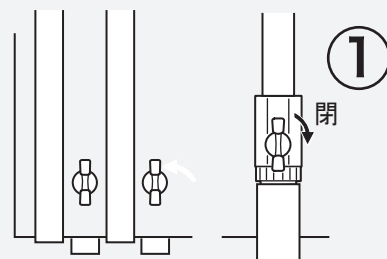
点検とお手入れ

長期間使用しないときは（1ヵ月以上使わないとき）

ふろ循環配管の水抜き、貯湯タンクユニットの水抜き、ヒートポンプユニットの水抜きの順で行ってください。

ふろ循環配管の水抜き

- 1 給水止水栓を閉める
- 2 200V用ブレーカー（配線用しゃ断器）が「入」になっていることを確認する
- 3 浴そうの栓を抜き、浴そうを空にする
- 4 画面が点灯することを確認する
- 5 を押し、 を押す
- 6 ふろ接続循環口から水が出なくなったら再度 を押す
- 7 漏電しゃ断器を「切」にする
- 8 200V用ブレーカー（配線用しゃ断器）を「切」にする



貯湯タンクユニットの水抜き

- 1 200V用ブレーカー（配線用しゃ断器）貯湯タンクユニットの漏電しゃ断器の「切」を確認する
- 2 貯湯タンクユニット内のお湯（水）をすべて排水する

- ・混合水栓の給湯栓、給水栓を開き、水と混合しながら熱いお湯が出なくなるまで給湯する。（貯湯タンクユニット内を水にする）
- ・給水栓、給水止水栓を閉じ、逃し弁レバーを上げ、排水栓（2ヶ所）を開き排水する。
- ・水栓タイプによって水栓の操作は異なります。（→12ページ）

3 排水終了後、混合水栓の給湯栓、給水栓を閉じる

4 給水止水栓が閉じていることを確認する

5 水抜き栓(4か所)および排水栓をゆるめる

※はずす必要はありません。

6 水抜き栓から水が出なくなったら水抜き栓(4か所)排水栓を閉める

7 三方弁・電磁弁・ふる循環1次側ポンプの水抜きをする

※本体内の水抜きについては、販売店または工事店にご相談ください。

ヒートポンプユニットの水抜き

水抜きについては、販売店または工事店にご相談ください。

1 ヒートポンプユニットの水抜き栓(2か所)を左に回して開ける

※お湯が出ますので、やけどに注意してください。

2 右側の水抜き栓を外す

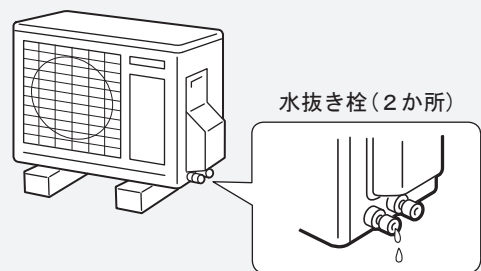
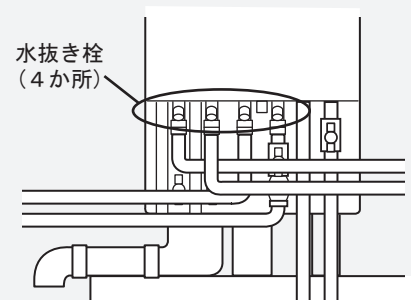
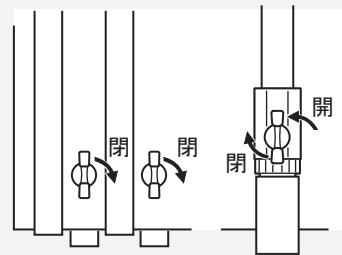
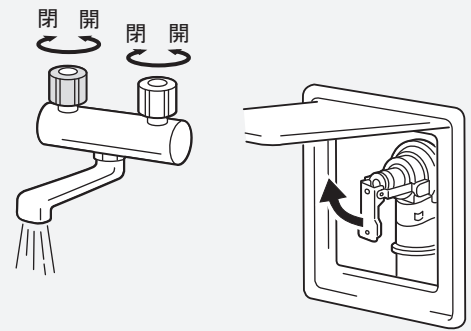
3 右側の水抜き部の穴に、市販のエアポンプを差し込む

4 エアポンプで、空気を押し込む

5 左側の水抜き部から水(お湯)が出なくなるまで、3~4を繰り返す

6 排水終了後、ヒートポンプユニットの水抜き栓(2か所)を閉める

※2個の水抜き栓は同じ形状です。



点検とお手入れ

停電したときは

- ・リモコンの時計の現在時刻を点検し、ずれている場合は現在時刻を合わせてください。
- ・10時間以上の停電があった場合は、全ての動作を停止します。台所リモコンまたは、ふろリモコンの復帰スイッチを押して運転を再開してください。

ふろ自動運転中の場合

- ・停電により、ふろ自動運転が中止されます。
→ **ふろ自動** を押して、再度ふろ自動運転を行ってください。

わき上げ中の場合

- ・停電復帰後、わき上げを再開します。（停電が長時間の場合は、設定湯量まで沸き上がらないことがあります。）

断水したときは

- ・断水したときは、断水が回復してからお湯を使うとタンク内に汚れが入るおそれがあります。
給水栓をあけて、水を十分出して、汚れがなくなってからご使用ください。

凍結のおそれがあるときは

1 水抜きをせずに、漏電しゃ断器を「入」のままにしておく

2 浴そうに水をはる

- ・水をふろ循環口の上から10cm以上はった状態にしておいてください。

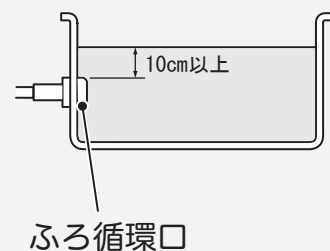
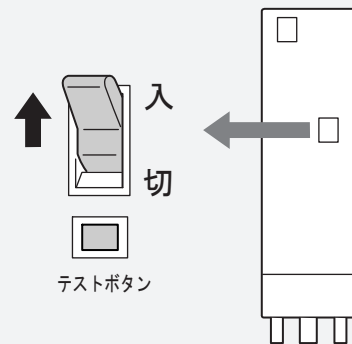


■外気温度が低くなると、凍結予防のため、自動的にポンプを作動させて水を循環させます。

- ・ふろの配管
循環ポンプが作動します。
(ふろ自動運転の「入」「切」に関係なく作動します)
- ・貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの接続配管
自動的にポンプが作動します。(わき上げ中であっても作動します)

3 配管の凍結予防ヒータの通電が「入」になっているか確認する

漏電しゃ断器（本体操作部）



1ヵ月以内の、比較的短期間使用しないとき

漏電しゃ断器は「入」のままにしておく

- ・ 冬場の凍結予防のためです。
- ・ 貯湯ユニットの水抜きはしないでください。

▶ 再びご使用になるときは…タンク内の水を入れ替えてからご使用ください。

定期点検について

ヒートポンプ給湯機を長期間にわたり、安全で快適にご使用いただくためには4~6年に一度、定期点検整備を行ってください。

設置条件、使用条件・特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な交換が必要です。

●定期点検整備の実施について

- ・ お申込み先・・・お買い上げの販売店
- ・ 点検整備内容・・・安全性の点検整備・システム機能の点検整備（配管など）・消耗・劣化しやすい部品の交換
- ・ 定期点検費用・・・定期点検整備は、お客様のご負担によって実施します。消耗・劣化しやすい部品で交換した部品代もご負担いただきます。



●定期点検整備の主な内容

項目	点検整備の内容
据付状態の点検	・ 配管接続部の水漏れ確認 ・ 電気絶縁チェック ・ 配管保温材の確認 ・ 設置面の確認
機能部品の点検	・ 逃し弁の水漏れ確認 ・ 循環ポンプの点検 ・ 水道用減圧弁の点検 ・ 逆流防止装置の動作確認 ・ 電気部品（配線、導通）動作の確認
清掃・整備	・ タンク下部のスケール沈殿物の排出 ・ 減圧弁の清掃 ・ 機能部品の清掃

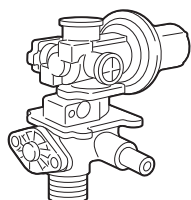
消耗部品について

水道用減圧弁、逃し弁・ヒートポンプ循環ポンプは消耗部品です。使用水質によっては、3年程度で消耗・劣化しやすい部品があります。

点検の結果、部品交換が必要なものは交換します。交換した部品代など、交換費用は、お客様にご負担いただきます。

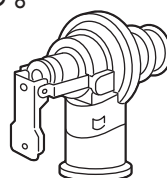
水道用減圧弁

使用水質によっては、減圧弁のダイヤフラム（ゴム製）や弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



逃し弁

使用水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



ヒートポンプ循環ポンプ

ヒートポンプ循環ポンプは、内部部品の消耗により運転時の騒音・振動が発生したり、起動不具合により、わきあげ湯量が不足した場合交換が必要です。

据付工事後の確認

次のチェック表にもとづき販売店（工事店）と共に点検をしてください。（地域や設置場所により工事の内容が若干標準配管例と異なることがあります）
 なお、この表は後日、メンテナンスのときに必要となりますので保管しておいてください。

	点検整備の内容	チェック
安全項目	貯湯タンクユニット脚部は、アンカーボルトで固定していること	
	床に防水処理、および漏水時の排水処理をしていること	
	漏電しゃ断器は、テストボタンで「切」になること	
	アース（接地）工事をしていること	
	貯湯タンクユニット上部は強度のある壁に固定していること	
	近くにガス類容器や引火物を置いていないこと	
	貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの連絡配線、リモコンケーブルを正しく接続していること	
本体 まわり	コンクリート基礎台を設けていること	
	工事説明書どおりに点検スペースを確保していること	
	本体まわりの給水接続部に給水止水栓が取り付けられていること	
配管 まわり	専用の給水止水栓が取り付けられていること	
	金属配管の場合、給水・給湯配管・ふろ配管に絶縁パイプを使用すること	
	給水・給湯配管・ふろ配管・ヒートポンプ配管の水漏れはないこと	
	凍結地域では、加温工事を施していること	
	部品をはずしやすいようにユニオン継手を使用していること	
	排水栓・排水エルボから排水溝へ配管していること	
	減圧弁のストレーナー（フィルター）を掃除すること	
	ヒートポンプ配管はツインチューブではなく、独立した配管を使用していること	
	ヒートポンプ配管に水側止水栓を設けていること（逆止弁付のものを使用していないこと）	
	排水管・ドレン口（逃し弁排水）または排水溝の間隔は5cm以上離していること	
	ヒートポンプユニットのドレンホースは排水溝へ導かれていること	
	給水、給湯配管、ふろ配管、ヒートポンプ配管に保温工事を施していること	
	貯湯タンクユニット排水時、排水溝より水があふれないこと	
	試運転終了後お客様へ引き渡すまでの間、電源を「切」にする場合は、水抜きを行うこと（冬期工事時）	
	湯水混合水栓のシャワー流量は十分確認すること	
シャワー付の混合水栓はサーモスタット付を使用すること		

故障かな？

こんなときは	故障ではありません
ふろリモコンが動かなくなつた	▶ お子様のいたずらや誤った操作を防ぐため、チャイルドロックがかかっているためです。チャイルドロックを取り消してください。(→22ページ)
▶ 夜間通電時間になってもヒートポンプユニットが動かない	▶ 朝わき上がるように水温や残湯量によって通電開始時間を調整するためです。(→18ページ)
▶ 夜間通電時間帯の通電終了時間よりも早くわき上がる	▶ 昼間の残湯があるときは、通電終了時間よりも早くわき上がります。(→18ページ)
▶ 湯切れした	▶ わき上げ湯量をおまかせに設定するか、マニュアル標準の設定の場合、「多め」に切り替えてください。(→18ページ)
▶	▶ 来客の多い日やお湯が多量に必要なときは、強制わき増し量を「3レベル」の設定にしてください。(→23ページ)
▶ 湯温が少し変化する	▶ 以下のときにお湯を出すと、若干湯温が変化することがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ふろと給湯を同時に出湯したとき ・お湯をくり返し使用したとき ・2か所以上でお湯を使用したとき ・水栓やシャワーの湯量を急に变化させたとき
▶ リモコンの時刻表示が、ずれている	▶ 現在時刻を合わせてください。(→16ページ)
▶ 貯湯タンクユニットから音がする	▶ わき上げ中やふろ自動運転では、ポンプが作動し、音がしますが異常ではありません。
▶ 寒い時、循環ポンプが動く音がする	▶ 凍結予防のため、ポンプが自動的に作動し、ユニット間やおふろのお湯を循環させる音で、異常ではありません。(→43ページ)
▶ お湯が出ない	▶ 断水していないか確認し、断水が回復したら、断水後の処置をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・長期間の断水のときは下記の処置をしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 本体操作部の漏電しゃ断器を「切」にする。 2. 給水止水栓を閉める。 ・再びご使用になるときは、給水止水栓を開け、混合水栓からお湯または水が出ることを確認して、漏電しゃ断器を「入」にしてください。
▶ わき上げ中に排水エルボまたは、ドレン口(逃し弁排水)から水が漏れる	▶ リモコンの「わかし中」表示が点灯中、貯湯タンクユニット内の水が膨張し、逃し弁が作動して排水エルボまたはドレン口(逃し弁排水)から徐々に水またはお湯が出ますが、故障ではありません。

・上記の処置をしても直らない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かな？

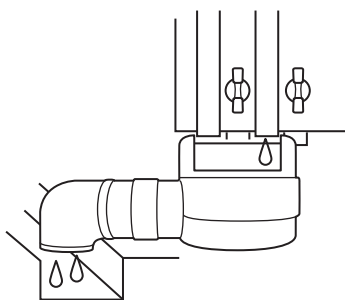
こんなときは	故障ではありません
わき上げ運転中、ヒートポンプユニットが霜で白くなる	▶ 冬期運転中は霜がつくことがあります。
わき上げ運転中、ヒートポンプユニットのドレン口から水が出る	▶ ヒートポンプユニットが大气から熱を吸収するときに、結露した水が出てきます。
お湯から油が出る、お湯が臭い	▶ 初めて使用するときには、配管工事のときの油やにおいがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。
ヒートポンプユニットから水や湯気が出る	▶ ヒートポンプユニットに付いた霜を取り除き、水や湯気として出すためです。
浴そう水が青く見えたり、タオル、タイルの目地が青くなる	▶ 水中に含まれているわずかな銅イオンの影響によるものです。人体には害はありません。(→15ページ)
湯切れ注意ランプが点滅している	▶ タンク内のお湯が少ないため、追いだきはできません。強制わき増し運転により、わき上げしてください。
リモコンが表示していない	▶ 表示が自動消灯の設定になっているためです。表示を自動消灯にしない場合は、台所リモコンの各種設定より常時点灯に設定してください。(→23ページ)
お湯はりの途中で音がる	▶ ポンプが空気を吸い込む音です。異常ではありません。お湯はりが完了すると音はしなくなります。
朝に残湯量表示が全て点灯した状態になっていない (タンク全量わいていないのでは?)	▶ <ul style="list-style-type: none"> ・冬季に外気温が低いときは、ヒートポンプユニットの能力が低下するので、夜間にタンク全量わかない場合があります。運転モード設定を「おまかせ」に設定してください。 ・夏季にお湯の使用量が減った場合に、タンク内の湯が余り気味になります。タンク内に残ったぬるい湯をわかし直す場合、ヒートポンプユニットの運転効率が低下するのを防ぐため、早めにわき上げを終了することがあります。
残湯量表示が1個点灯しているのにわき上げしている	▶ わき上げ湯量設定を「おまかせ」「マニュアル」に設定している場合、お湯を270L使ったらすぐにお湯増しをする(「使用わき増し」)場合があります。(→17ページ)

・上記の処置をしても直らない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

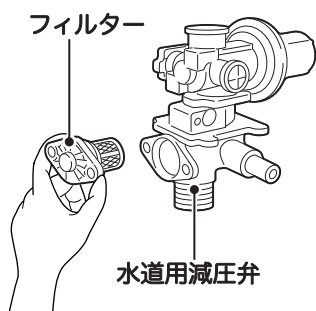
こんなときは販売店または施工店にご連絡ください。

こんなときは

「わかし中」が消灯中に排水エルボ・ドレン口から水が漏れる



湯の出が悪くなったとき



その他

ご連絡ください

運転中以外（リモコンの「わかし中」が消えているとき）に排水エルボまたはドレン口に水が漏れているときは、逃し弁の故障です。

逃し弁が故障したまま使用されますと、わき上がったお湯が逃し弁より漏れて、湯量不足がおこったり、湯温が低くなったり、水道代・電気代が平常月より高くなる場合があります。

逃し弁レバーを数回上下に動かし、レバーを下げたときにドレン口または排水エルボからお湯（水）が止まるか確認してください。

※上記操作を行っても排水エルボまたはドレン口からお湯（水）が出続けている場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

フィルターにごみなどがつまっていることがあります。販売店または施工店の方が行ってください。

・掃除の方法

やけど防止のため次の手順で行ってください。

1. 漏電しゃ断器を「切」にした後、「長期間使用しないときは」（→41ページ）の項に従って排水する。
2. 排水後、フィルターのふたをはずし、あみを掃除する。
3. フィルターのふたを閉め、「はじめてお使いになるとき」（→11～12ページ）の項に従って再びご使用ください。

・台所リモコン、ふろリモコンの時刻表示部に次ページ以外の「異常表示」が出たとき

・水漏れがあるとき
給水止水栓を閉めてから、販売店にご連絡ください。

移設するときは…

●増改築・引越しなどで、機器を移設したり、再据付する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

配管部材の修理…

●ヒートポンプ給湯機（本体に当初から内蔵された部材を含む）の本体以外の配管部材にかかわる修理は販売店（工事店）に連絡してください。

故障かな？

異常表示について

対処してください

リモコンの時刻表示部に次のように表示された場合は、お客さまが対処できる異常表示です。それぞれの方法で対処してください。

異常表示	内 容	処 置 方 法
F-E04	お湯はり時の浴槽の栓の閉め忘れ	①浴槽の栓が抜けていたら、しっかり栓をする ②台所リモコン、またはふろリモコンのふろ自動スイッチを押し「入」にする
F-E04	満水であふれる	①ふろ自動スイッチを押し「切」にする ②設定水位を下げて適量水位に設定しなおす ③ふろ自動スイッチを押し、ふろ自動運転する
F-E07	ふろ自動運転または、あつく動作開始から、60分しても設定温度にならない	①湯切れの場合は、強制わき増しスイッチを押し ②ふろ循環口のフィルターのつまり、配管のつぶれがないか点検してください。再度表示したら循環ポンプ清掃、点検が必要です。販売店にご連絡ください。 ③前日の残り湯をわかし直しすると、設定温度にならない場合があります。できるだけ行わないでください。
H-E01	①ヒートポンプユニットの水側止水栓が閉まっている	①水側止水栓を開にする
H-E02	②ヒートポンプユニットの水側フィルターが詰まっている	②フィルターを掃除する
H-E03	③ヒートポンプユニットのエア抜きが不十分	③貯湯タンクユニットと、ヒートポンプユニット配管のエア抜きをする

販売店に連絡してください

- ・リモコンの時刻表示部に上記以外の表示が出た場合または上記の処置をしても直らない場合は異常です。給水止水栓を閉じ、配線用しゃ断器、漏電しゃ断器を「切」にし、すみやかに買い上げの販売店にご連絡ください。
- ・冬期凍結のおそれがある時期に異常表示が出たときは、配線用しゃ断器、漏電しゃ断器および配管の凍結予防ヒーターの通電を「切」にすると、配管が凍結して故障が拡大する場合がありますので、すみやかに買い上げの販売店にご連絡ください。

仕様

■システム 370L (薄型フルオート)

型式 (セット形式)	EBS-U37QTA
適用電力制度	季節別時間帯別電灯、時間帯別電灯、通電制御型
区分	夜間蓄熱式機器
種類	屋外式
電源	単相200V (50/60Hz共用)
最大電流	16A
仕向地 ※1	Ⅲ地域以南
システム構成品番	貯湯タンクユニット: EB-U37QTA ヒートポンプユニット: EB-U45HPA リモコンセット: EBK-USRA
オプション部材	上部振れ止め金具: EBP-U37FK 配管カバーセット: EBP-UHK37 リモコン屋外配線カバー: EBK-SFHK

※1. 次世代省エネ基準Ⅲ地域: 主に宮城、福島、栃木、新潟、長野の一部など、次世代省エネ基準Ⅲ地域以南の地域でご使用ください。
また、最低気温が対応温度(マイナス10℃)を下回る地域には設置しないでください。

■ヒートポンプユニット 仕様

型式 (品番)	EB-U45HPA
使用冷媒	CO2
外形寸法 (H X W X D)	694X828 (+70) X300mm (突起部除く)
製品質量	64.0kg
定格加熱能力/消費電力	4.5kW/1.04kW 外気温(乾球温度/湿球温度)16℃/12℃、水道17℃、わき上げ温度65℃
夏期加熱能力/消費電力	4.5kW/1.04kW 外気温(乾球温度/湿球温度)25℃/21℃、水道24℃、わき上げ温度65℃
冬期加熱能力/消費電力	4.5kW/1.30kW 外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/4℃、水道9℃、わき上げ温度65℃
冬期高温加熱能力/消費電力	4.5kW/1.44kW 外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水道9℃、わき上げ温度90℃
定格COP	4.3
わき上げ温度	約90℃~約65℃
運転音	39dB (定格条件)

■貯湯タンクユニット 仕様

型式 (品番)	EB-U37QTA	
タンク容量	370L	
最高使用圧力	190kPa (1.9kgf/cm ²)	
外形寸法 (H X W X D)	1995X1100X430mm	
製品質量	106kg (満水時476kg)	
消費電力	0.124kW/0.149kW (凍結予防ヒーター含む)	
配管接続口径	給水・給湯接続	R3/4 (20Aオス)
	ふろ循環接続	R1/2 (15Aオス) (推奨φ10樹脂管保温付) 配管長15m10曲り以内、鳥居配管3m以内
	ユニット間接続 ※2	R1/2 (15Aオス) (推奨φ10樹脂管保温付) 配管長15m6曲り以内、高低差3m以内、鳥居配管3m以内

※2. ヒートポンプユニット・貯湯タンクユニット間ケーブル: 3芯φ2.0mmVVFケーブル、電源ケーブル2芯φ2.0mmをご使用ください。

■運転制御 仕様

給湯湯はり保温	給湯温度調整	36℃~48℃ (1℃刻み)、60℃
	自動お湯はり温度調整	36℃~48℃ (1℃刻み)
	水位(量)調節	7段階設定 ※3
凍結予防	方式	間接加熱
	保温時間	最長保温時間 5時間
給水圧力	給湯	水抜き
	ふろ	自動凍結予防運転
	ユニット間	自動凍結予防運転
		200kPa~350kPa (2.0kgf/cm ² から3.5kgf/cm ²)

※3. ふろ循環口上約10cm~15cmから上方に2cmまたは4cm刻み (浴そうの大きさによって変わります) の7段階設定。

アフターサービス

保証書（別紙）について

お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ大切に保管してください。

保証期間はお買い上げの日より2年間です。
ただし、熱交換器およびコンプレッサーは3年間、タンクは5年間です。

- 保証書の記載内容によりお買い上げの販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎてからの修理については、お買い上げの販売店、または「お客様サービス受付センター」にご相談ください。お客さまの希望により有料修理いたします。

この取扱説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障・事故は補償いたしません。

補償用性能部品の保有期間について

ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後10年です。

- 補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居される場合

- 撤去、再設置工事は必ず専門業者に依頼してください。

お客様サービス受付センター



0120-330-515

FAX. 0120-553-286

受付時間

年中無休 365日/24時間

●サービスを依頼されるときは、次のことをおしらせください。

- | | |
|-----------------|---------------|
| ①型式名：EBS-U37QTA | ②現象：異常・故障等詳しく |
| ③ご住所、お名前、電話番号 | ④道順：付近の目印も |

サンデン株式会社

〒110-8555 東京都台東区台東1-31-7
<http://www.sanden.co.jp>



古紙配合率70%再生紙を使用しています

40950-44103